

令和5年度

主要な施策の成果を説明する書類

2024年9月

読谷村長 石嶺傳寛

はじめに

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら

第 539 回読谷村議会 9 月定例会におきまして、令和 5 年度会計の決算を認定に付すにあたり、地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づき、当該決算に係る会計年度の「主要な施策の成果を説明する書類」を提出いたします。

先日閉幕した 2024 パリオリンピックにおいて、日本や各国代表選手たちの活躍は世界中に大きな感動を与えてくれました。一方で、ウクライナやパレスチナなど各地で起こる紛争は、平和の祭典であるオリンピック期間中も継続して行われるなど、国際情勢は厳しい状況が続いております。かつて悲惨な戦争を経験し、その苦難の歴史から復興しつつある沖縄から平和を発信していくことの重要性を改めて感じた次第であります。

戦後復興のひとつである跡地利用の推進につきましては、村民センター地区に整備する屋内運動場及び（仮称）読谷村総合情報センターの実施設計に取り組んでまいりました。また大木地区、大木南地区や瀬名波地区などでは区画整理事業および土地改良事業を遂行し、市街地や農地の基盤整備に取り組んでおります。

令和 5 年 5 月 8 日、新型コロナウイルス感染症が、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律上の 5 類感染症への移行に伴い、コロナ禍前の日常生活に戻りつつありますが、この数年間で培った新たな習慣や価値観は、これからの時代にも引き継がれていくものと考えております。これらを大切にしつつ、より良いむらづくりに向けて前進していく必要があります。

新型コロナウイルス感染症が収束する一方、国際情勢の悪化による資源価格高騰や円安の進行などが重なり、物価高騰が村民の生活に大きな影響を及ぼしています。本村としましては、国による低所得者世帯への物価高騰支援給付金の速やかな支給に努めるとともに、村独自の支援策として、給水契約のある世帯及び事業者の水道料金基本料金の免除を行い、一般家庭や村内事業者への経済的支援に取り組んでまいりました。

子ども子育ての推進につきましては、地域の宝である子どもたちが健やかに育ち、子育て世代が安心して産み育てられる環境を構築するため、様々な事業を展開してまいりました。保育・教育環境の充実につきましては、認定こども園移行を踏まえた教育・保育施設の再編計画を策定し、認定こども園の整備に取り組んでおります。学童保育につきましては、新たに、公設民営、民設民営学童クラブとともに1施設ずつ運営補助を行うとともに、新たに令和5年度より読谷村こども未来基金収益事業として、こどもの居場所づくりの活動を行う個人又は団体に対し助成金の交付を行うなど、官民一体となって子どもの居場所づくりの充実を図っております。学校施設につきましては、古堅南小学校新增改築工事を行い、新校舎建設工事が完了しております。

ゆんたんご産業づくりにつきましては、本村の魅力ある数々の特産品をふるさとづくり寄附金の返礼品として全国へ発信しております。令和5年度の寄附金額は、制度改正の影響もあり前年度より5千9百万円減ったものの、約5億7千2百万円と多くの寄附金をいただきました。村内事業者の協力によりバラエティーに富んだ特産品を提供でき、頂きました寄附金につきましては、公園遊具の設置等、子ども子育て環境の充実のほか、産業の振興等、様々な事業に活用させていただいております。ご寄附を頂きました多くの皆さまに感謝申し上げます。

スポーツをとおしたむら（ひと）づくりにつきましては、野球やサッカーの春季キャンプ期間におけるコスモスフェスティバルなどのイベント実施により、県内外から多くの観客で賑わいを創出しました。また、スポーツを通じた健康な村づくりを目指す「読谷コンディショニング会議」を開催しました。

むらづくりには、村民の皆さまをはじめ、各自治会や地域団体、NPO法人等と行政が共に創造し、互いに汗をかき、その成果を享受する取り組みが肝要でございます。令和5年度は新たに2つの自主防災組織が結成され、災害に対する関係性が深い地域コミュニティの強化を図ることができました。引き続き、未結成の地域に対し、地域支え合い活動と一体となる活動を提案するなど、自主防災組織の必要性などの啓蒙活動に努めて

まいります。数年のコロナ禍によりむらづくりへの関わり方も大きく変化しつつありますが、その根幹であります包括的コミュニティづくりを推進してまいります。

では、令和5年度に実施いたしました主要事業の成果につきまして、以下のとおりご説明いたします。

ゆたさるぐとう うにげーさびら

目 次

はじめに
施策の体系

内容

1	<small>フンシトウ シナテイ ユチユチトウ ク</small> 風水としなて悠々と暮らさ（自然と調和した潤いのあるむらづくり）	1
1)	自然環境の保全・活用	1
2)	計画的な土地利用の推進	2
3)	軍用地跡地利用の推進	3
4)	都市施設の維持・強化	4
5)	公園・緑地の整備・保全	12
6)	循環型むらづくりの推進	13
7)	安全・安心むらづくりの推進	14
2	<small>ヂュ ヒトウ ヌ マナ スダ</small> ちむ清らさあるひとの学び育ち（夢を育み生涯輝けるひとづくり）	18
1)	子ども子育ての推進	18
2)	子どもの教育の充実	27
3)	地域文化の創造発展	35
4)	生涯学習の充実	42
5)	スポーツの推進	47
3	<small>ウマンチュ ウラ フクティガンジュウヌシマ</small> 御真人や笑い誇て 健康の村（未来が輝くハツラツむらづくり）	50
1)	地域福祉の推進	50
2)	健康づくりの推進	53
3)	高齢者福祉の推進	61
4)	地域医療の充実	69
5)	障がい者（児）福祉の推進	70
6)	国民健康保険・国民年金制度の安定的な運営	72
4	<small>タゲ イチュ ウク クガニハナサカ</small> 互いに 勢い起ち黄金花咲さ（人集い活力と魅力あふれるむらづくり）	73
1)	農業の振興	73
2)	水産業の振興	80
3)	観光の振興	81
4)	商工業の振興	84
5)	手わざ工芸の振興	86

5	スリティチュク ヘイワ ヌ ユ うち揃て 創らな平和の世（平和で平等な協働のむらづくり）	87
	1) 住民自治の推進	87
	2) 平和むらづくりの推進	90
	3) 男女共同参画人権尊重の推進	91
	4) 情報化政策の充実	92
	5) 基地問題への対応	93
	6) 健全な行財政運営	94
6	新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策関連事業	99
7	重点施策の推進	101
	1) 子ども子育ての推進	101
	2) ゆんたんど産業づくりの推進	102
	3) スポーツをとおしたむら（ひと）づくりの推進	103
	4) 包括的コミュニティづくりの推進	103

施策の体系

基本施策	施策の方針	施策の展開
1 (自然と調和した潤いのあるむらづくり) フンシトウシナイ ユチユチトウク 風水としなて悠々と暮らさ	1) 自然環境の保全・活用	(1)陸・海域環境の保全 (2)自然と共生する環境保全の推進
	2) 計画的な土地利用の推進	(1)都市と農村が調和する土地利用の推進 (2)景観を活かす地域環境への誘導と保全
	3) 軍用地跡地利用の推進	(1)村民センター地区の整備推進 (2)立地条件を活かした土地利用の推進
	4) 都市施設の維持・強化	(1)村道等の計画的な維持管理の強化及び整備の推進 (2)上下水道施設の計画的な維持管理の強化及び整備の推進 (3)排水路等の計画的な維持管理の強化及び整備の推進 (4)健全で快適な住環境の創造 (5)暮らしやすい社会に向けたサービスの維持・強化
	5) 公園・緑地の整備・保全	(1)地域と協働した維持管理の強化 (2)村民ニーズを踏まえた計画的な公園整備 (3)緑の拠点づくりの推進
	6) 循環型むらづくりの推進	(1)ごみの減量化・資源化の推進 (2)環境に配慮した取り組みの推進
	7) 安全・安心むらづくりの推進	(1)防災対策の充実 (2)防犯・交通安全対策の充実 (3)消防・救急の充実 (4)環境衛生の充実
2 (夢を育み生涯輝けるひとづくり) デュ ヒトウヌマナ スタ ちむ清らさあるひとの学び育ち	1) 子ども子育ての推進	(1)保育・幼児教育環境と学童保育の充実 (2)子ども子育て地域支援ネットワークの構築 (3)笑顔あふれる家庭環境づくり
	2) 子どもの教育の充実	(1)「生きる力」を育む教育環境・学習活動の推進 (2)安全・安心な教育環境の充実 (3)地域と学校が連携した学び場づくりの推進
	3) 地域文化の創造発展	(1)地域文化の継承・発展 (2)読谷の歴史・文化・芸術・自然の発信
	4) 生涯学習の充実	(1)誰でも学べる環境づくりの推進 (2)地域を担う人材育成の推進
	5) スポーツの推進	(1)スポーツ環境の充実 (2)スポーツに触れる機会の創出

基本施策

施策の方針

施策の展開

<p>3 御真人や笑い誇って健康の村 (未来が輝くハツラツむらづくり)</p> <p>ウマンチュ ワラ フクテイガンジュウマシマ</p>	1) 地域福祉の推進	(1)繋がり支え合う村民・地域づくりの推進 (2)住みよい福祉基盤づくりの推進
	2) 健康づくりの推進	(1)各種健（検）診の充実 (2)感染症対策と予防接種の充実 (3)健康相談・指導体制の充実 (4)生涯にわたる健康づくりの推進
	3) 高齢者福祉の推進	(1)持続可能な介護保険制度の運営 (2)介護予防の推進 (3)生きがいづくりの推進 (4)日常生活支援の充実 (5)在宅医療・介護連携の推進
	4) 地域医療の充実	(1)村立診療所の安定運営 (2)民間医療機関との連携充実
	5) 障がい者（児）福祉の推進	(1)ライフステージに応じた自立支援 (2)生活支援・相談支援体制の充実 (3)共に生きる社会づくり
	6) 国民健康保険・国民年金制度の 安定的な運営	(1)療養費の適切な給付 (2)保険税（料）の適正な課税・徴収 (3)国民健康保険及び後期高齢者医療の安定運営 (4)国民年金制度の周知
<p>4 互いに勢い起ち黄金花咲き (人集い活力と魅力あふれるむらづくり)</p> <p>タグ イチユ ウク クガニハナサカ</p>	1) 農業の振興	(1)地域特性を活かした農業の振興 (2)営農環境の整備及び適正管理と秩序ある土地利用 (3)担い手の育成・確保 (4)地産地消及び読谷型地域6次産業化による流通・販売の強化
	2) 水産業の振興	(1)安定した地域水産業の取り組み (2)開かれた漁港づくりによる新たな展開
	3) 観光の振興	(1)豊かな地域資源（ヒト、モノ、情報等）を活用したよみた ん型ツーリズムの推進 (2)多様化するニーズに対応できるマーケティングの強化
	4) 商工業の振興	(1)活力のあるむらづくりのための商工業の振興 (2)農漁商工観光連携等による地場産業の発展
	5) 手わざ工芸の振興	(1)炎によるものづくりの振興 (2)織と染の振興
<p>5 うち揃って創らな平和の世 (平和で平等な協働のむらづくり)</p> <p>スリテイテユク ヘイワヌユ</p>	1) 住民自治の推進	(1)村民による地域活動や自治活動の充実 (2)的確な情報発信・共有の促進 (3)村民による自発的なむらづくりの推進
	2) 平和むらづくりの推進	(1)戦争の語り部の発掘・育成と戦争遺跡等の活用 (2)平和創造の推進 (3)多様な時代に向けた平和・共生交流の推進
	3) 男女共同参画・人権尊重の推進	(1)人権を尊重し多様な生き方の実現を目指す取り組み (2)安心して働き続けられる環境づくり (3)女性の能力を活かすための積極的な取り組みの支援
	4) 情報化政策の充実	(1)情報システムを活用した電子自治体の実現 (2)統計情報のオープンデータ化
	5) 基地問題への対応	(1)米軍基地から派生する諸問題への対応強化 (2)基地負担軽減への取り組みの強化
	6) 健全な行財政運営	(1)時代にマッチした職員の資質向上 (2)健全な財政運営 (3)自主財源の確保 (4)効果的・効率的な行政運営 (5)広域行政の充実

1 風水としなて悠々と暮らさ（自然と調和した潤いのあるむらづくり）

1) 自然環境の保全・活用

自然環境の保全・活用につきましては、村内各所に花壇登録した個人・団体への草花の配布を行い、快適な生活環境づくりを推進することを目的として取り組んでおります。また、歴史・文化的な景観を形成している樹木の保全のため、森林性病害虫に対する防除対策を行っております。

(1)陸・海域環境の保全

(事業費単位：円)

事務事業名	111102 緑地整備事業	決算書 p. 219
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度同様、村民参加型の「読谷村育樹祭」に代わり、読谷中学校男子ソフト部が参加しコスモスの種まきを行った。 ・ これまで植樹した区域の草刈りのほか、読谷村情報センターの建設に伴い、建設用地南側の植栽の移植を実施した。 	事業費 13,297,400
成果	これまでに植樹した区域の草刈りや、播種したコスモスの開花により、豊かな緑地が形成され、緑地環境の美化・保全を図ることができた。	
事務事業名	111103 緑地維持管理事業	決算書 p. 219
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「花いっぱい村づくり」の推進のため、受注業者と調整を行い、季節に合わせた品種を選定し、個人・団体の花壇登録者へ、年3回の配布を行った。 ・ これまで植樹を行ってきた区域の除草作業等を行い維持管理に努めた。 	事業費 9,236,538
成果	花壇登録者による積極的な活動により、村内の緑地景観が形成され「花いっぱいの村づくり」の推進が図られた。 (令和5年度配布数：54,120本) 緑地等の維持管理を行うことで、環境保全・緑地景観形成の充実が図られた。	
事務事業名	111105 林業振興事業	決算書 p. 219
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ デイゴを保全するため、デイゴヒメコバチ防除薬液注入（古堅、比謝砦）36本を行った。 	事業費 114,840
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ デイゴの保全を行うことができた。 	

(2)自然と共生する環境保全の推進

※関連事務事業にて実施

- ・ 緑地整備事業
- ・ 緑地維持管理事業

2) 計画的な土地利用の推進

計画的な土地利用の推進につきましては、第3次読谷村国土利用計画に基づき、自然環境や風土、歴史・文化等の特性を活かした土地利用を図っております。

景観づくりにつきましては、第二次読谷村景観計画や地区計画をはじめ、景観地区を設定し、建築物等の規制・誘導を行い良好な景観の形成に取り組んでおります。

(1) 都市と農村が調和する土地利用の推進

※関連事務事業にて実施

- ・ 景観形成事業

(2)景観を活かす地域環境への誘導と保全

(事業費単位：円)

事務事業名	112201 景観形成事業	決算書 p. 245
取組内容	・ 令和4年度景観施策実績報告及び屋内運動場の基本設計を議題に景観委員会を開催した。	事業費
		38,680
成果	景観委員会において、令和4年度の建築物等の景観届出が34件であった報告を行い、景観形成に係る取り組みに理解を得られた。また、大規模施設となる屋内運動場について、センター地区周辺建築物との調和や植栽等による景観に配慮した施設設計の提案を行い理解を得られた。	

3) 軍用地跡地利用の推進

軍用地跡地利用の推進につきましては、読谷補助飛行場をはじめとする返還跡地において、生活を営むためのインフラ等の整備を行っております。令和5年度においても、引き続き地元地主会等と協働して取り組み、本村の発展に向けた整備を推進しております。

区画整理事業の推進につきましては、引き続き円滑な事業執行を図り、早期完成に向けて取り組んでおります。

(1) 村民センター地区の整備推進

※関連事務事業にて実施

- ・ 村道親志波平線整備事業

(2) 立地条件を活かした土地利用の推進

(事業費単位：円)

事務事業名	113201 読谷補助飛行場跡地「北地区」整備事業	決算書 p. 249
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度座喜味東原地区道路整備工事を発注し、完了した(整備延長 L=300m)。 ・ 事業用地(9筆・合計 562.07 m²)を取得した。 	事業費
		60,761,949
成果	事業用地の取得及び令和5年度座喜味東原地区道路整備工事を完了することにより、事業が進捗した。	
事務事業名	113202 大木地区土地区画整理事業	決算書 p. 249
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度 大木土地区画整理地区市町村支援事業磁気探査委託業務(経層探査 47,798 m²、確認探査 605点) ・ 都市再生整備事業にて予定していた公管金相当額を、土地区画整理組合等貸付基金より事業負担金として支出した。 	事業費
		163,202,308
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認探査等を実施することにより、現在進行中である土地区画整理事業に寄与することで、軍用地跡地利用に資するとともに、良好な市街地形成に繋がる。 	
事務事業名	113203 大湾東地区土地区画整理事業	決算書 p. 249
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大湾東土地区画整理組合の事業執行が円滑に図れるよう、組合に対し技術支援や関連事業との協議・調整を行い、共に土地区画整理事業を推進した。令和5年度は、換地計画の策定を行った。 	事業費
		72,076,396
成果	組合と調整・協議を行い、大湾東土地区画整理事業の進捗が図られた。	

事務事業名	113206 大木南地区土地区画整理事業	決算書 p. 249
取組内容	・ 大木南土地区画整理組合の事業執行が円滑に図られるよう、組合に対し技術支援や関係事業との協議・調整を行い、共に土地区画整理事業を推進した。令和5年度は主に地区計画の策定を行った。	事業費
		11,196,740
成果	当該地区内で行われた村事業（村道整備）について、組合と調整・協議を行い円滑な事業推進を行った。	
事務事業名	113207 楚辺通信所跡地道路整備事業	決算書 p. 251
取組内容	・ 令和2年、3年度に実施した実施設計委託業務の成果に基づき、令和4年度に引き続き、道路・排水施設の分筆測量及び地区計画区域内の境界確定測量を行った。	事業費
		57,138,829
成果	波平平石原他西南地区道路整備分筆測量委託業務を実施し、当該事業を推進した。 令和5年度は分筆測量図作成213筆、境界確定67筆を完了。	

4) 都市施設の維持・強化

都市施設の維持・強化につきましては、読谷村道路整備プログラムに基づいた幹線道路等の整備を引き続き推進し、本村初となるラウンドアバウト（環状交差点）が整備されるなど、防災性及び利便性が向上するとともに、村民の生活に最も密着する生活道路の整備や、道路などの草刈り・修繕等の維持管理を行い、安全安心に利用できるように努めております。

良質で清浄な水道水の安定供給及び家庭から排出される汚水の浄化処理は、村民の日常生活に欠かすことのできないものであります。水道事業につきましては、大木南土地区画整理地内配水管布設工事、村道大木喜名線配水管布設工事、県道6号線配水管布設替工事を実施し、新規の給水需要への対応と耐震化の推進を図り、安定した水道水の供給に努めております。

下水道事業につきましては、大木、楚辺、伊良皆地内の下水道工事（污水）を実施するとともに、接続補助金を活用することで公共下水道への接続を促進し、生活環境の改善及び公共用水域の保全に努めております。また、公共下水道工事（雨水）につきましては、大木排水区の整備を年次的に実施してまいります。

健全で快適な住環境の創造につきましては、公営住宅において、読谷村営住宅長寿命化計画に基づいた個別修繕を行い良好な住環境の維持に努めるとともに、住宅リフォーム支援事業により村民の住環境の向上に寄与しております。

(1)村道等の計画的な維持管理の強化及び整備の推進

(事業費単位：円)

事務事業名	114102 道路維持管理事業	決算書 p. 235
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 本村が管理する道路や排水路において、草刈りや植栽樹木害虫防除等の委託管理、工事に関しては、側溝や舗装等の施設修繕のほか、維持補修工事、安全施設工事（区画線、転落防止柵等）や渡慶次小学校前における交差点改良のため用地取得を行った。 	事業費
		185, 810, 832
成果	老朽化の進んだ道路の修繕工事を国庫補助事業等を活用し実施することで、通行する車両や歩行者の安全性を確保することができた。植栽の管理や水路等の清掃については、民間事業者やシルバー人材センターを活用して対応したほか、クリーンアップ推進事業によって応急的な対応も実施し、生活環境の保全に取り組むことができた。	
事務事業名	114104 生活道路整備事業	決算書 p. 237
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会や地域からの生活道路整備の要望を基に緊急性及び地域住民の同意状況を踏まえ整備の優先順位を決め、予算に応じて整備工事を取り組んだ。 令和5年度生活道路整備工事（整備延長L=90m、整備箇所：波平・比謝）を実施した。 	事業費
		9, 976, 478
成果	令和5年度生活道路整備工事を実施したことにより、地域住民にとって快適で安全な生活環境が得られた。	
事務事業名	114109 村道波平～都屋線整備事業	決算書 p. 237
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 都屋遊水池の雨水流入量軽減を図るため、当該用地を取得する必要があることから、当該用地の鑑定評価を行った。 	事業費
		979, 052
成果	鑑定評価を行い売買予定価格を決定した。	

事務事業名	114111 村道大木喜名線整備事業	決算書 p. 237
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄振興公共投資交付金事業にて、令和5年度村道大木喜名線整備工事（1工区）（整備延長L≒700m）を実施した。 無電柱化推進事業にて、令和4年度村道大木喜名線整備工事（2工区）（整備延長L≒250m）、令和5年度村道大木喜名線整備工事（2工区）（整備延長L≒120m）を実施した。 補助金の変更交付決定後、両事業の進捗を図るため、予算の増額を行い、令和6年度へ繰り越した。 	事業費
		157,308,087
成果	<p>沖縄振興公共投資交付金事業及び無電柱化推進事業による工事を行ったことから、当該事業が進捗した。</p> <p>公共施設管理者負担金（無電柱化推進事業）は、沖縄防衛局及び北部国道事務所の工事施工箇所に影響し、協定書の締結が叶わなかったため、同事業の本工事費に予算を組替えし、令和6年度へ繰り越した。</p> <p>また、両事業の進捗を図るため、予算の増額を行い、令和6年度へ繰り越した。</p>	
事務事業名	114113 村道中央残波線整備事業	決算書 p. 239
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄振興公共投資交付金事業にて、令和5年度村道中央残波線（2）実施設計委託業務（設計延長L=700m）を発注した。 同事業の進捗を図るため、変更契約（増額）を行い、令和6年度へ繰り越した。 	事業費
		9,088,988
成果	<p>沖縄振興公共投資交付金事業にて、県道6号線から村道渡慶次波平線までの区間について実施設計を行っていたが、予算の増額を行い、擁壁等の設計を追加したことから、令和6年度へ繰り越した。</p>	
事務事業名	114118 村道比謝横断線整備事業	決算書 p. 241
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度村道比謝横断線整備工事（大木南工区）を発注し、令和5年6月に完了した。 	事業費
		22,651,287
成果	<p>大木南工区（国道58号読谷道路から村道大湾～古堅線まで）について、令和5年6月に工事完了し、大木南土地地区画整理組合へ引き渡した。</p>	
事務事業名	114120 古堅差門原地区道路整備事業	決算書 p. 241
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 当道路用地は古堅自治会が賃借で管理してきており経済負担になっていた。そのため村道用地として購入することにより適正な村道管理及び古堅自治会の負担軽減を図る。 	事業費
		8,521,992
成果	<p>用地買収 6筆 面積 507.86 m²</p>	

事業名	下水道事業会計	
取組内容	<p>[工事]</p> <p>汚水 23-1 工区 (楚辺地内)</p> <p>管渠工 φ150 L=330.3m</p> <p>管渠工 (取付管) φ100 L=45.4m</p> <p>汚水 23-2 工区 (大木地内)</p> <p>管渠工 φ200 L=25.5m</p> <p>管渠工 φ150 L=1,609.0m</p> <p>管渠工 (取付管) φ100 L=347.1m</p> <p>汚水 23-3 工区 (伊良皆地内)</p> <p>管渠工 φ150 L=612.2m</p> <p>管渠工 (取付管) φ100 L=23.3m</p> <p>汚水 23-4 工区 (大木地内)</p> <p>管渠工 φ150 L=91.3m</p> <p>管渠工 (取付管) φ100 L=7.5m</p> <p>雨水 23-1 工区 (大木土地区画整理地内)</p> <p>ヒューム管布設工 φ600～φ1100 L=420.4m</p> <p>雨水 23-2 工区 (大木地内)</p> <p>ボックスカルバート布設工 □1400mm×1400mm L=170.7m</p>	事業費
	<p>[委託]</p> <p>汚水第1処理分区実施設計委託 (伊良皆地内)</p> <p>φ1200 未満 L=2,034m</p> <p>汚水第2処理分区実施設計委託 (伊良皆・大木地内)</p> <p>φ1200 未満 L=3,119m</p> <p>汚水ストックマネジメント計画策定 (楚辺地内)</p> <p>φ75～φ350 L=46,797.6m</p> <p>楚辺浄化センター、マンホールポンプ (8基)</p> <p>[接続補助]</p> <p>浄化槽等から下水道接続 50件</p> <p>[転換補助]</p> <p>単独浄化槽等から合併浄化槽へ転換 5件</p>	1,005,265,821

事業名	下水道事業会計（続き）
成 果	<p>汚水整備事業は、大木地内の下水道整備を行い整備率の向上を図ることができた。また、下水道への接続促進の広報活動や補助金を活用することで接続件数の向上が図られた。</p> <p>雨水整備事業は、大木区画整理区域を流域に含む大木排水区のヒューム管及び函渠工事を行い、年次的に雨水排水路の整備に取り組んだ。</p> <p>利用可能人口 11,087 人（前年度比 637 人増）</p> <p>利用人口 7,321 人（前年度比 247 人増）</p> <p>水洗化率 66.0%（前年度比 1.7%減）</p>

(3)排水路等の計画的な維持管理の強化及び整備の推進

(事業費単位：円)

事務事業名	114301 渡具知地内排水路整備事業	決算書 p. 241
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度渡具知地内排水路整備工事（整備延長 L=121m）を実施し、当該事業を完了した。 	事業費
		54,973,583
成果	<p>本事業において、流末処理が未整備だった排水施設を整備後、周辺地域での冠水や公衆衛生上の問題等が発生していないことを確認できたため、周辺環境の改善が図られたと評価できる。</p>	
事務事業名	114304 集落内排水路整備事業	決算書 p. 241
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 読谷村字高志保地内において滞水が見られた個所を改善するため、排水路整備工事（整備延長 L=92m）を実施し、その改善を図った。 	事業費
		17,252,524
成果	<p>排水路整備により、当該地区の雨水排水機能が向上したことから、地域住民の生活環境の改善が図られた。</p>	

(4)健全で快適な住環境の創造

(事業費単位：円)

事務事業名	114402 公営住宅事務事業	決算書 p. 251
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 古堅団地給排水設備改修工事（6世帯）を行い、18世帯すべて完了した。 瀬名波団地 A 棟給排水設備改修工事（6世帯）を行った。 空き室が発生したことによる入居申込み募集を行い、入居者選考委員会にて審査を行った。 村営住宅の適正な維持管理を行った。 	事業費
		58,832,642
成果	<p>計画的な設備の更新や個別修繕を行うことで、良好な住環境の維持を図ることができた。</p> <p>村営住宅入居申込み募集にかかる入居者選考委員会の適正な審査により、真に住宅に困窮する世帯へ村営住宅の供給を図ることができた。</p>	
事務事業名	114403 住宅リフォーム助成支援事業	決算書 p. 253
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 広報よみたんや読谷村ホームページ、FM よみたん、行政事務連絡会等を利用した助成金の周知活動を行った。 申請件数 13 件、交付件数 13 件 	事業費
		2,090,984
成果	<p>住宅リフォームの助成を利用し、申請者に対する住環境の質の向上につながった。</p> <p>リフォーム工事の助成による地域経済の活性化に寄与した。</p>	

(5)暮らしやすい社会に向けたサービスの維持・強化

(事業費単位：円)

事務事業名	114501 コミュニティバス運営事業	決算書 p. 65
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 交通空白地帯へのコミュニティバスの運行 石川～読谷線の運行補助（生活バス路線確保対策事業） 	事業費
		39,495,978
成果	<p>公共交通空白地帯において、コミュニティバスの運行を行うことにより、交通弱者となっている村民に対し、安定的な交通手段を確保した。</p> <p>利用者数： 32,781人 運賃収入：3,929,351円</p>	
事務事業名	114503 火葬場運営事業	決算書 p. 191
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 年 800 件余の火葬場需要に確実に応える。 	事業費
		30,667,625
成果	<p>台風の襲来とそれに伴う停電の影響で火葬場を6月に1日間、8月に6日間閉館したが、それ以外は遅滞なく火葬を提供できた。</p> <p>村内 392 件、北谷町 223 件、嘉手納町 175 件、域外 52 件 計 842 件</p>	

5) 公園・緑地の整備・保全

公園の維持管理につきましては、定期巡回や地域と協働での維持管理に取り組んでおり、安全安心かつ快適な環境に繋がっております。また、令和5年度よりパークゴルフ場においては指定管理制度を導入することで、民間の知識や技術を活用し村民サービスの向上に努めてまいります。

今後も定期点検や修繕を適宜行い、村民の憩いの場として安全安心かつ快適に利用できるように努めてまいります。

(1)地域と協働した維持管理の強化

(事業費単位：円)

事務事業名	115101 公園維持管理事業	決算書 p. 245
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街区公園においては地域コミュニティの力を活用し、各自治会と連携を図りながら、草刈りやトイレの清掃を実施するとともに、公園遊具の定期点検や補修等を行い、公園利用者が安全安心に利用できるように維持管理に努めた。 ・ 残波岬公園の園路から灯台までの遊歩道の修繕を行い、高齢者や車いす利用者が安全に灯台まで行くことが可能になった。 	事業費
		67,432,807
成果	各自治会及び委託業者等による定期点検や清掃のほか、自主点検を行い適宜修繕を行うことで安全安心で利用できる公園として管理することができた。	
事務事業名	115102 パークゴルフ場運営事業	決算書 p. 247
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ R5年度より指定管理者による管理運営がスタートした。 ・ 毎月利用者数及び使用料の報告を受け、運営状況等を共有し、連携して目標値の達成に取り組んだ。 	事業費
		4,234,107
成果	指定管理者制度を導入することで、年間を通して11箇月において各月の前年度利用者数を上回り、年間利用者数は設定した目標値を大きく超えた。 65歳以上の利用者が全体の4割を占め、高齢者の健康増進の推進が図られるとともに、村外利用者が増加し読谷村のPRにおいても寄与することができた。	
事務事業名	115103 都市公園安全安心整備事業	決算書 p. 247
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊城公園において長年の大雨や暴風等の影響により浸食を受けた崖地の崩落の進行を防止するため、崖地対策工事を実施しており、本年度の工事延長（L≒18m）を完了した。 	事業費
		68,209,256
成果	本年度の工事（L≒18m）を完了することで事業の進捗を図ることができた。 ※全体延長約90m（出来高約53%）	

(2) 村民ニーズを踏まえた計画的な公園整備

※関連事務事業にて実施

- ・ 公園維持管理事業

(3) 緑の拠点づくりの推進

※関連事務事業にて実施

- ・ 緑地整備事業
- ・ 緑地維持管理事業
- ・ 林業振興事業

6) 循環型むらづくりの推進

ごみの減量化・資源化の推進につきましては、家庭から出る草木のチップ化（資源化）やもやせるごみとして処分されていた古布の拠点回収を行い、リユース・リサイクルを行なうことで、ごみの減量化を図り、循環型むらづくりを推進しております。

地球温暖化への対策といたしましては、地球温暖化対策実行計画を基に、各課にエコリーダーを配置し、村の事務事業における二酸化炭素の排出量の削減に努めております。

(1) ごみの減量化・資源化の推進

(事業費単位：円)

事務事業名	116101 塵芥収集事業	決算書 p. 195
取組内容	・ 村内 4 許可業者による一般家庭ごみの戸別収集・運搬を一般廃棄物処理実施計画に基づき行った。 ・ 中間処理施設である環境美化センターへの運営負担金を構成町村の村と嘉手納町で負担した。 ・ 一般廃棄物処理基本計画の改定を行った。	事業費
		595,815,194
成果	可燃ごみ 11,216 t、不燃ごみ（粗大ごみ含む）836 t、資源ごみ 3,806 t を一般家庭と事業者から収集・運搬し、計画どおり処理できた。	

事務事業名	116103 ごみ減量・環境美化促進事業	決算書 p. 197
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの減量及びリサイクル率向上のために、草木処分については、草木資源化施設への搬入を案内している。 ・ 資源ごみ集団回収奨励金を交付した。 ・ 生ごみ処理容器の販売や機器購入に係る助成金を交付した。 ・ 古布拠点回収（楚辺・波平・宇座・喜名・古堅・大木・大添・渡具知）を行い、リユース・リサイクルすることで、ごみの減量化を図った。 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <hr/> <p style="text-align: center;">11, 124, 772</p>
成 果	<p>草木処分についての問い合わせがあった場合は、積極的に草木資源化施設への案内を行った。リサイクル率については、24.5%と前年度（23.7%）より伸びている。また草木資源化施設へは約 2,433 t 搬入され、「もやせるごみ」として処理されれば約 8,517 万円もの費用が掛かることを考えると、一定の成果が出ている事業である。家庭から排出される生ごみの自家処理を促進するため、生ごみ処理容器の販売（実績：42 基）や生ごみ処理機購入に係る助成金を交付した（実績：11 基）。</p>	

(2)環境に配慮した取り組みの推進

※関連事務事業にて実施

- ・ 生活環境事務運営事業

7) 安全・安心むらづくりの推進

安全・安心むらづくりの推進につきましては、各自治会、団体の防災訓練に対し講師を派遣する等、地域防災力の強化を図っております。また、村主催の防災講演会を開催し、防災意識の向上を図りました。自主防災組織については、令和5年度に横田、波平の2団体が結成され、合計7団体となりました。引き続き、未結成の地域に対し、地域支え合い活動と一体となる活動を提案するなど、自主防災組織の必要性などの啓蒙活動に努めてまいります。

村民へ防災情報を速やかに伝達するための無線放送設備の整備や村公式 LINE に防災情報枠を活用し、情報伝達手段の強化を図り、災害に強いむらづくりに努めております。

防犯・交通安全対策の充実につきましては、通学路を中心に街頭防犯カメラによる監視及び防犯灯の新規設置や歩行者用カラー舗装及び道路反射鏡設置工事を行いました。また、嘉手納警察署へ信号機設置要望を行い、読谷中学校西側交差点へ新たな信号機が設置され、地域の防犯環境の向上や交通安全確保に努めております。

消防・救急業務につきましては、多様化する災害及び救急に対応できるよう、比謝川行政事務組合ニライ消防において、総合的な消防力の強化に努めております。

環境衛生の充実につきましては、衛生害虫駆除等の実施やハブ咬傷被害防止のため捕獲器を設置することにより、個体数増加の抑制及びハブ咬傷事故の減少に努めております。

(1)防災対策の充実

(事業費単位：円)

事務事業名	117102 防災対策事業	決算書 p. 97
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の訓練については、5団体のうち4団体において防災訓練を実施した。 自主防災組織が横田、波平で結成され合計7団体となった。 令和6年3月に読谷村防災マップを新しく作成し、村ホームページへの掲載を行った。 令和6年3月に国民保護避難実施要領パターンを作成した。 防災講演会を実施し、5団体・67名が参加した。 	事業費
		21,711,269
成果	自主防災組織が新たに横田と波平で結成され、合計7団体となった。今後も未結成の地域における早期設立を促す。 ハザードマップでこれまで対応していなかった水防法に基づく（洪水）マップを作成することができ、新しく指定した避難所を周知することが出来た。	
事務事業名	117103 無線放送施設整備事業	決算書 p. 99
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 以前使用していたアナログ方式の防災行政無線子局16局撤去及び処分、戸別受信機13台の撤去工事 	事業費
		19,891,300
成果	上記の通り工事を完了することができた。	

(2)防犯・交通安全対策の充実

(事業費単位：円)

事務事業名	117201 交通安全対策事業	決算書 p. 91
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 道路反射鏡設置工事 5 基 (瀬名波、渡慶次、座喜味、伊良皆、大湾) カラー舗装等設置工事 3 件 (村道喜名 41 号線、村道高志保～宇座線、村道瀬名波 8 号線) 道路反射鏡修繕 13 件 	事業費
		8, 003, 619
成 果	交通安全対策工事等を行うことにより、交通事故の発生が抑制され、村民の交通安全確保に努めた。	
事務事業名	117202 防犯対策事業	決算書 p. 93
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯設置工事 (24 箇所) 街頭防犯カメラ設置工事 (3 箇所) 防犯灯修繕 (106 件) 防犯灯電気料補助金 27 自治会へ交付 防犯灯修繕費補助金 18 自治会へ交付 	事業費
		25, 637, 446
成 果	街頭防犯カメラでの監視及び防犯灯の新規設置や自治会管理防犯灯への補助を行うことで、犯罪の予防や安全安心の確保を図り、地域の防犯環境の向上に努めた。	

(3)消防・救急の充実

消防関係		
項 目	説 明	備 考
救急出場件数	出場 (1, 690 件) 搬送人員 (1, 358 人)	うち不搬送 (336 件)
火災出動件数	建物 (3 件) 林野 (2 件) 車両 (1 件) その他 (0 件)	
風水害出動件数	出動 (82 件)	
避難訓練	4 回	
救急指導 (救命講習)	54 回 970 人 普通Ⅰ 6 回 64 人 普通Ⅱ 該当なし 普通Ⅲ 3 回 39 人 入門コース 5 回 65 人 一般 16 回 349 人 その他 24 回 453 人	

(4)環境衛生の充実

(事業費単位：円)

事務事業名	117401 生活環境事務運営事業	決算書 p. 175
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電システム導入補助 産業廃棄物最終処分場周辺地下水の水質調査 河川水質調査 	事業費
		4,201,261
成果	太陽光発電システム補助金については村ホームページにて公開した。 産業廃棄物最終処分場周辺地下水の水質調査を行い、現状把握と周辺住民の健康管理の基礎資料にする。	
事務事業名	117402 衛生害虫等防除事業	決算書 p. 191
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ヘビ類の直接捕獲 村民からの要望に応じ、ハブトラップの設置 巡回委託(ヘビ類捕獲数：40匹うちハブ類18匹) ハチの巣駆除委託(ハチの巣駆除依頼及び出動件数：55件) 	事業費
		695,599
成果	ヘビ類・ハチの衛生害虫の駆除を行うことで住環境の改善に繋げることが出来た。	
事務事業名	117403 狂犬病予防対策等事業	決算書 p. 191
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 犬の登録申請受付(登録件数：230件) 狂犬病予防注射済票の交付(交付件数：1333件) 沖縄県獣医師会と連携し、動物病院での登録、注射済票交付の委託 野犬等保護、捕獲及び動物死骸処理委託 FMよみたん、広報よみたんにて狂犬病予防注射、犬の飼い方についての普及啓発 	事業費
		3,560,141
成果	動物病院での登録、注射済票発行の委託及び広報活動により狂犬病の発生防止に資することが出来た。令和5年度も犬の飼い方教室を開催し、飼主のペットの飼い方の意識の向上に資することが出来た。	
事務事業名	117404 危険生物駆除事業	決算書 p. 193
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 村内にハブ捕獲器を200器設置し、定期的な巡回・管理及び捕獲・処分を実施。 	事業費
		2,758,785
成果	ヘビ類捕獲数53匹中、ハブ類38匹捕獲。 個体数の増加抑制及び咬傷事故の減少に努めた。	

2 ちむ^{チュ}清らさあるひとの^{ヒトウ}学び^ヌ育ち^{スダ}（夢を育み生涯輝けるひとづくり）

1) 子ども子育ての推進

子ども子育ての推進につきましては、第2期読谷村子ども・子育て支援事業計画に基づき、「安心して子どもを産み、健やかに成長できるむらづくり」を基本理念に、子ども子育て支援のさらなる充実に取り組んでおります。

保育・教育環境の充実につきましては、認定こども園移行を踏まえた教育・保育施設の再編計画を策定し、認定こども園の整備に取り組んでおります。

学童保育環境の充実につきましては、放課後児童クラブの整備として、公設学童クラブの指定管理を行うとともに、新たに民設学童クラブへの補助を行いました。引き続き放課後児童健全育成事業の充実に取り組んでまいります。

村立幼稚園では、令和5年度より預かり保育事業において預かり保育ヘルパーを配置し、特別な配慮を要する園児への支援や、子育てしやすい環境、働きやすい環境の充実を図ってまいります。

笑顔あふれる家庭環境づくりにつきましては、家庭児童相談員等による家庭支援、内閣府の補助事業である子どもの貧困対策事業を活用し実施している生活スキルアップ事業や社会生活体験事業などをおして、児童の生活スキルの向上に取り組みました。また、読谷村社会福祉協議会と子どもや子育て世代を取り巻く課題を共有し、協働で子どもの居場所づくりや地域の子育て支援体制づくりに取り組みました。

新たに令和5年度より読谷村こども未来基金収益事業として、こどもの居場所づくりの活動を行う個人又は団体に対し助成金の交付を行いました。今後もこどもの居場所づくりの活動を行う個人又は団体へ助成等を行ってまいります。

(1)保育・幼児教育環境と学童保育の充実

(事業費単位：円)

事務事業名	121101 私立幼稚園支援事業	決算書 p. 145
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設型給付：新制度移行私立幼稚園および認定こども園へ施設型給付費の給付を正確に行った。 預かり保育：新制度移行私立幼稚園および認定こども園へ午後の預かり保育に対する補助を行った。 低所得世帯への給食費補助：低所得で生計が困難である世帯（年収 360 万円以下）に対して、主食費 1,000 円、副食費 4,700 円を上限に補助を行った。 	事業費
		90,699,388
成果	<p>【施設型給付】 新制度移行私立幼稚園および認定こども園へ施設型給付費を給付し、就園に係る経済的負担の軽減を行うことで、子育て支援に繋がった。（1号認定：6園 延べ1,628人）</p> <p>【預かり保育】 新制度移行私立幼稚園および認定こども園へ午後の預かり保育に対する補助を実施し、預かり保育を推進することで、保護者の就労に対応するとともに保護者の経済的負担の軽減を行った。（3園 延べ23,917人）</p> <p>【低所得世帯への給食費補助】 低所得で生計が困難である世帯（年収 360 万円以下）に対して、主食費 1,000 円、副食費 4,700 円を上限に補助を行うことで、低所得者の円滑な利用が図られ、子どもの健やかな成長の支援に繋がった。（2園 延べ492人）</p>	
事務事業名	121104 放課後児童健全育成事業	決算書 p. 147
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> R5年度より公設民営、民設民営学童クラブともに1施設ずつ増やして補助を行い、合計で公設5か所、民設5か所となった。 ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用者支援事業を行い、ひとり親家庭等の学童クラブ利用料補助を行った。障がい児巡回相談事業を行い、支援員の研修、児童の支援に対する相談を行った。放課後児童支援員の資質向上研修を他市町村と合同で行い、放課後児童クラブの質の向上に努めた。また、沖縄県が行う放課後児童支援員認定研修に5名推薦し支援員となった。 	事業費
		112,481,650
成果	<p>公設学童クラブ5施設、民設学童クラブ5施設の計10施設に補助を行い、利用児童数が増加した。また、障がい児巡回相談や、放課後児童支援員資質向上研修により放課後児童クラブの質の向上が図られた。</p>	

事務事業名	121105 認可外保育施設助成事業	決算書 p. 159
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 認可外保育施設入所児童の処遇向上及び質の向上を図るため、児童の健康検診（延べ 316 人）、児童の歯科検診（延べ 144 人）、職員の健康検診（46 人）、給食調理員の衛生検査（延べ 228 人）、給食費補助（延べ 1,907 人）、教材費補助（154 人）、保育環境充実費補助（5 施設）、賠償責任保険料の補助（延べ 146 人）、安全確保に関する補助（10 施設）を実施した。 	<p>事業費</p> <p>11,848,271</p>
成果	<p>助成事業を実施したことにより、認可外保育施設が指導監督基準を満たし保育の質の向上を図ることができ、認可外保育施設を利用する児童の健やかな成長を促進させている。</p>	
事務事業名	121106 認可保育園運営事業	決算書 p. 159
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の就労等により保育が必要な児童に対して、認可保育園が質の高い保育サービスを提供することができるよう、施設に対し子どものための教育・保育給付費の給付を正確に行った。 保育対策総合支援事業や保育士正規雇用化促進事業など、保育士の確保と定着に向けた取組みを実施した施設に対し、補助金を交付した。 	<p>事業費</p> <p>1,459,404,725</p>
成果	<p>認可保育園へ子どものための教育・保育給付費の給付を正確に行うことによって、保護者の就労等により保育が必要な児童に対して、質の高い保育サービスを提供することができた。令和 5 年度認可保育園 12 園等への支給合計額：1,388,297,880 円・延長保育事業を行う施設へ補助金を交付することによって、通常保育時間外でも保育を行うことができた。延長保育事業：3,792,000 円・補助事業を活用し保育士の処遇改善や負担軽減に寄与する取組みを実施することができた。</p>	

事務事業名	121109 読谷保育所運営事業	決算書 p. 161
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全・安心な保育を行うため、保育所全体の保育の質の向上を目指し、専門的な知識や技術を身に付けていくよう職員研修の計画・実施をする。 ・ 障がい児保育希望者を可能な限り受け入れる。 ・ 一時預かり事業は、就労、リフレッシュ、緊急での希望者を可能な限り受け入れる。 	事業費
		63,589,406
成果	<p>研修を実施することにより、専門的な知識を深め質の高い保育を提供することができた。</p> <p>障がい児保育では、公認心理師の専門的な助言を得ながら子どもの育ちの保障に努めた。</p> <p>一時預かり事業は、可能な限り受け入れを行い、保護者ニーズに応えることができた。</p>	
事務事業名	121110 南保育所運営事業	決算書 p. 165
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全・安心な保育を行うため、保育所全体の保育の質の向上を目指し、専門的な知識や技術を身につけていくよう職員研修の計画、実施をする。 ・ 障がい児保育希望者を可能な限り受け入れる。 ・ 一時預かり事業は、就労、リフレッシュ、緊急での利用者を可能な限り受け入れる。 	事業費
		73,223,189
成果	<p>職員研修を実施することにより、専門的な知識を深め質の高い保育を提供することができた。</p> <p>障がい児保育では、公認心理師の専門的な助言を得ながら子どもの育ちの保障に努めた。</p> <p>一時預かり事業は、可能な限り受け入れを行い、保護者ニーズに応えることができた。</p>	

事務事業名	121111 預かり保育事業	決算書 p. 255
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 就労や介護、通院など、様々な理由により午前の幼稚園教育課程終了後も保育を必要とする保護者の負担を軽減するため、村立幼稚園において午後の預かり保育事業を実施した。 	事業費
		33,154,384
成果	<p>預かり保育利用人数計 262 名 (89%)</p> <p>内訳 渡慶次幼 39 名 (95%) 読谷幼 77 名 (88%) 喜名幼 49 名 (92%)</p> <p>古堅幼 49 名 (82%) 古堅南幼 48 名 (91%)</p> <p>村立幼稚園 5 園に預かり保育士を合計 11 名配置した。さらに、令和 5 年度より預かり保育ヘルパーを合計 5 名配置し、特別な配慮を要する園児への支援を行った。</p>	
事務事業名	121113 幼稚園教育支援員配置事業	決算書 p. 297
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園全体の支援、補助を行うために 5 園に 1 名の教育支援員の配置を行った。 	事業費
		13,825,417
成果	<p>村立幼稚園 5 園に教育支援員を 1 名ずつ配置した。担任と連携し教育支援を実践することで、子供の成長及び学びの充実に寄与することができた。また、早朝登園児の受入れを行うことで保護者の就労支援を行うことができた。</p>	
事務事業名	121121 子育てのための施設等利用費助成事業	決算書 p. 169
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子育てを行う保護者の経済的負担の軽減を図るため、施設等を利用した費用を上限額の範囲内で支給した。 <p>対象者：3～5 歳児の認定子ども</p> <p>0～2 歳児の認定子ども（住民税非課税世帯）</p> <p>対象施設：市町村の確認を受けた保育園等</p> <p>支給上限額：3～5 歳児 37,000 円</p> <p>0～2 歳児 42,000 円</p>	事業費
		116,999,710
成果	<p>子育てを行う保護者の経済的負担軽減を図り、子育て支援に寄与した。</p> <p>令和 5 年度給付児童数（延べ人数）</p> <p>私立幼稚園利用者……………1,421 人</p> <p>認可外保育施設利用者…1,931 人</p>	

(2)子ども子育て地域支援ネットワークの構築

(事業費単位：円)

事務事業名	121202 児童館運営事業	決算書 p. 149
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ R 5 年度より指定管理制度を導入し児童館の運営を行った。子どもの発言に注視し、「やってみたい！」を実現する等、拠点性、多機能性を高める取り組みを行ったり、学校や地域と連携した地域性を高めるイベントを増やし、利用者数の増加に努めた。 	事業費
		13,751,686
成果	中高生や未就学児の利用者も増えてきている。利用登録者は1,292名、年間延べ利用者数18,022名、1日平均利用数63名	
事務事業名	121204 地域子育て支援事業	決算書 p. 171
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児講座は、子どもの年齢や月齢に合わせ、内容や開催時期を考慮し実施した。 ・ 保護者の育児不安や悩み等についての育児相談を行い、必要に応じ専門機関と連携をとりながら育児支援を行った。 ・ 行事は、親子が無理なく楽しめる内容を工夫しながら開催した。 	事業費
		3,679,269
成果	<p>育児講座の開催時期や内容については、子どもの発達に考慮し保護者の意見を取り入れ開催することができた。</p> <p>育児に関する相談の対応を行い、公認心理師や管理栄養士による相談日を設け、子どもの発達や子育てに関する悩み相談などの対応を行い保護者の育児支援に繋げる事ができた。</p> <p>利用者は低年齢児の親子が多く、行事の持ち方の工夫し、親子が無理なく楽しんで参加していた。</p>	

(3)笑顔あふれる家庭環境づくり

(事業費単位：円)

事務事業名	121301 子どもの自立支援事業	決算書 p. 149
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄子どもの貧困緊急対策事業補助金・沖縄県子どもの貧困対策推進事業を活用した生活スキルアップ事業、社会体験事業、子どもの居場所づくり支援事業を実施。 ・ 直営事業(生活スキルアップ・自立応援プロジェクト事業・社会体験事業) <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託事業 子ども支援コーディネーター配置、子どもの居場所づくり支援事業を社協内・各自治体で実施、こども宅食事業。こどもの居場所ネットワーク会議の開催 	事業費
		9,703,460
成果	<p>生活スキルアップ事業、こどもの居場所支援事業等を通じて、子どもの自己肯定感を高める取組につながった。子どもは様々な生活体験を通じて成長し、自尊心や自己肯定感を育むことにより、将来の希望に繋がる。特に、様々な困難を抱えた子どもたちの中には、社会体験機会も少ないため、この事業をとおして豊かな生活体験の機会となる。スキルアップ事業に参加を行った児童の中には、自信をもち学校生活を過ごすことや、自らの進路決定につながるなどの事例もあった。</p>	
事務事業名	121302 子ども子育て支援事業	決算書 p. 151
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①令和6年度にて第3期読谷村子ども子育て支援事業計画の策定を行うため、子ども子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査を実施。 ・ ②認定こども園意向を踏まえた教育・保育施設の再編計画の策定。 ・ ③こども未来基金運用事業助成金については、こどもの居場所づくりを実施する個人又は団体へ上限100万円の助成金を交付する。 ・ ④ファミリーサポートセンター事業 まかせて会員養成講座を実施し、子育て支援活動に取り組んだ。 ・ ⑤未就学児の親子が気軽につどい、交流を通じて子育てへの負担感の緩和を図った。 	事業費
		24,961,624
成果	<p>①ニーズ調査の結果を踏まえて第3期読谷村子ども子育て支援事業計画の策定を行うことができる(量の見込み等の算出や、求められているサービスやハード面の整備等の把握を行った)</p> <p>②認定こども園意向を踏まえた教育・保育施設の再編計画を策定することで、方向性や整備計画等を具体的に進めることができる。</p> <p>③こども未来基金収益金事業助成金を交付することで、こどもの居場所づくりを行うことができた。(2団体へ助成金の交付)</p> <p>④ファミリーサポートセンター 会員数：利用会員(育児の援助を希望する方) 960人 サポート会員(育児の援助をしたい方) 145人 両方会員(利用もサポートも希望する方) 112人</p> <p>⑤つどいの広場利用者数 年間 5,126人、イベント開催 37回</p>	

－前頁より続き－

(事業費単位：円)

事務事業名	121303 児童手当支給事業	決算書 p. 153
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 0歳～中学卒業まで、6月10月2月に手当を支給した。 【支給対象延べ児童数】 令和5年6月期 25,708人 令和5年10月期 24,961人 令和6年2月期 25,739人 	事業費
		876,448,909
成果	児童を養育している保護者へ手当を支給することで、経済的支援に繋がり、生活の安定に寄与した。	
事務事業名	121304 児童扶養手当事務管理事業	決算書 p. 155
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 父母の離婚などで、父又は母と生計を共にできない児童が育成される家庭（ひとり親家庭等）へ支給する児童扶養手当及び精神又は身体に障害を有する児童について支給する特別児童扶養手当に関する各種届出書受理、審査及び沖縄県への進達を行った。 児童扶養手当受給者数 607人 特別児童扶養手当受給者数 255人 	事業費
		7,171,784
成果	児童を養育している保護者へ手当を支給することで、経済的支援に繋がり、生活の安定に寄与した。	
事務事業名	121305 母子・父子家庭等医療費助成事務事業	決算書 p. 155
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 年間延べ支給件数 父母：2,944件 児童：659件 令和5年度末対象者数 母子家庭 母：534人 児童：873人 父子家庭 父：41人 児童：67人 養育者家庭 児童：2人 	事業費
		14,360,826
成果	ひとり親家庭等への医療費の一部を助成することにより、生活の安定と自立を支援し、経済的負担の軽減となった。	

事務事業名	121306 未熟児養育医療給付等事業	決算書 p. 179
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体の発育が未熟なままで生まれ、入院を必要とする乳児に対して、指定医療機関において入院治療を受けた場合にその医療費を助成した。 ・ 申請のあった未熟児に対して、医療費の助成を行った。 令和5年度申請者 14件 	事業費
		5,898,606
成果	未熟児に係る医療費を助成することによって、子どもの健全な育成を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減することができた。	
事務事業名	121307 こども医療費助成事業	決算書 p. 193
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0歳児から中学校卒業までの児童に対し、医療費助成を行った。 <p>令和5年度助成金件数 【償還払い】0歳～中学3年生 750件 【現物給付】0歳～中学3年生 86,127件</p>	事業費
		166,290,032
成果	子どもに係る保険適用分の医療費を助成することによって、こどもの健全な育成を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減することができた。	
事務事業名	121308 子ども家庭総合支援拠点事業	決算書 p. 155
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村内すべての子どもとその保護者、妊婦の相談を子育て世代包括支援センターと連携しながら相談支援業務に取り組んでいる。 <p>相談対応実件数 306件 延べ件数 2,996件</p>	事業費
		4,665,559
成果	子育てに関する保護者の相談や児童からの相談に応じる体制強化が図られた。児童虐待防止のための体制に繋がっている。困難を抱えた子どもや保護者一人ひとりに寄り添った支援を行った。	

2) 子どもの教育の充実

子どもの教育の充実につきましては、これからの時代に求められる「情報活用能力」を育むためにICTを有効活用した授業実践を推進してまいります。

学校施設につきましては、古堅南小学校新增改築工事を行い、新校舎建設工事が完了しております。また、喜名小学校防音機器復旧工事による空調設備の改修を行うなど、より良い教育環境の整備に努めております。

地域と学校が連携した学びの場づくりの推進につきましては、地域学校協働活動や放課後子ども教室のボランティア確保ができ、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、安全で安心な居場所づくりに寄与しております。

(1) 「生きる力」を育む教育環境・学習活動の推進

(事業費単位：円)

事務事業名	122103 特別支援教育支援員配置事業	決算書 p. 259
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村立幼稚園及び小中学校へ特別支援教育支援員及び特別支援教育ヘルパー等、学校指導課へ特別支援教育支援専門員を配置し、対象幼児及び児童・生徒の学校生活の支援を行った。 ・ 各種支援員等の安定確保を図るため、処遇改善を実施した。 	事業費
		74,394,768
成果	村立幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員（19名）及び特別支援教育ヘルパー（23名）を配置 学校指導課に特別支援教育支援専門員（1名）を配置 村立小学校2校及び村立幼稚園2園において医療的ケア児対応の看護師（4名）を配置 各種支援員等の処遇改善を実施した。	
事務事業名	122105 学力向上推進事業	決算書 p. 261
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読谷村学力向上推進協議会への補助金交付。 ・ ICT研究指定校の設定を行い、ICT機器の効果的な活用を推進した。 ・ 村立中学校中学2年生を対象として教育の日講演会を実施した。 	事業費
		4,550,347
成果	各幼稚園小中学校が、自己肯定感の高まりや学び・育ちの実感を意識しながら、組織的に関わることができた。 ICT研究指定校として、読谷中学校が「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりに取り組んだ。 教育の日講演会では、生成AIとの共生をテーマにした講演を行いキャリア教育の充実につなげることができた。	

事務事業名	122106 校外活動支援バス貸出事業	決算書 p. 261
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> マイクロバスの貸出を行い、幼稚園、小中学校等の校外活動の支援を行った。 	事業費 1,330,885
成果	延べ貸出回数 163 回 内訳 <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園及び小中学校における校外学習：年 53 回 (幼 7 回；小 42 回；中 4 回) 部活動等による校外学習：年 32 回 教育委員会事業等：年 19 回 その他団体：年 59 回 	
事務事業名	122107 特別支援教育推進事業	決算書 p. 263
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 教育支援委員会を随時開催し、就学に関する支援を行った。 支援対象の幼児・児童・生徒について、心理検査及び言語検査を実施した。 保護者面談を実施した。 幼小中学校に巡回相談員を派遣した。 	事業費 1,617,091
成果	教育支援委員会の開催 12 回、就学支援 116 名 特別支援教育コーディネーターの定例会（研修会含む） 11 回、巡回相談 21 回 就学先に向けての保護者面談及び親子面談 33 件 検査結果のフィードバック 60 件	
事務事業名	122109 小学校特別支援補助事業	決算書 p. 279
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級の全児童に申請書を配布し、審査を行った。 	事業費 2,748,945
成果	全児童へ申請書を配布することで、毎年申請していただけるようになった。また、就学援助に該当する世帯には就学援助を勧め、保護者の経済的負担軽減を図ることができた。	
事務事業名	122110 小学校就学援助事業	決算書 p. 279
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 制度の周知方法として、オリエンテーションや就学時健診でのチラシ配布や SNS 活用、進級時において全児童へチラシと申請書の配布を行った。 	事業費 45,940,357
成果	全児童へ申請書を配布することで、申請者が多くなったことにより対象者も増加している。	

事務事業名	122112 小学校学習支援員配置事業	決算書 p. 279
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 全学年の児童を対象に小学校5校へ学習支援員を1名ずつ配置し、児童の学習意欲の向上や基礎学力定着への支援を行った。 	事業費 12,857,946
成果	小学校5校へ学習支援員を1名ずつ配置し、各学校において課題が見られる学年への学習支援を行うことができた。 令和5年度学びのたしかめ ・4学年 平均正答率 37.7% (県：41.2% 中頭 39.9%) ・5学年 平均正答率 59.4% (県：61.6%、中頭 61.5%) 令和5年度沖縄県学力到達度調査結果 ・6学年 平均正答率 46.2% (県：48.2%、中頭 48.3%)	
事務事業名	122113 小学校教育振興事務運営事業	決算書 p. 279
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 校務用パソコンのリース管理 教材用備品、楽器備品の購入 県外大会派遣費補助金の交付 	事業費 13,620,939
成果	教材用備品購入 38品目 (生物顕微鏡、直線専用電動ミシン等) 楽器備品購入 8品目 (学校用オルガン等) 県外大会派遣費補助金交付 1件 校務用パソコンの更新 (159台)	
事務事業名	122120 中学校特別支援補助事業	決算書 p. 291
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級の全生徒に申請書を配布し、審査を行った。 	事業費 1,234,201
成果	全生徒へ申請書を配布することで、毎年申請していただけるようになった。また、就学援助に該当する世帯には就学援助を勧め、保護者の経済的負担軽減を図ることができた。	
事務事業名	122121 中学校就学援助事業	決算書 p. 291
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 制度の周知方法として、オリエンテーションや就学時健診でのチラシ配布やSNS活用、進級時において全生徒へチラシと申請書の配布を行った。 	事業費 27,019,017
成果	全生徒へ申請書を配布することで、申請者が多くなったことにより対象者も増加している。	

事務事業名	122122 中学校学習支援員配置事業	決算書 p. 291
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校 2 校へ学習支援員を 1 人ずつ配置した。 	事業費
		5,642,031
成果	中学校 2 校に学習支援員を 1 名ずつ配置し、個に応じた学習支援を行うことで、つまずきが見られる生徒の学習の定着と学習意欲の向上につなげることができた。 R 5 年度沖縄県学力到達度調査結果 ・ 中 1 数学平均正答率 34.1% (県平均 36.5% 中頭 33.8%)	
事務事業名	122123 中学校教育振興事務運営事業	決算書 p. 291
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校務用パソコンのリース管理 ・ 教材用備品、楽器備品の購入 ・ 県内外大会派遣費補助金の交付 	事業費
		12,110,466
成果	教材用備品購入 16 品目 (ステンレス薬品庫、ロイター板等) 楽器備品購入 4 品目 (ドラムセット等) 県内外大会派遣費補助金交付 13 件 校務用パソコンの更新 (76 台)	
事務事業名	122124 中学生海外ホームステイ派遣事業	決算書 p. 293
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村内在住中学生の海外派遣実施及び費用補助 ・ 派遣終了後における報告会の開催 	事業費
		2,724,960
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外ホームステイ派遣 6 名 ・ 令和 5 年 11 月 24 日 報告会開催 ・ 物価高騰等により費用の増額が考えられることから、保護者の負担軽減を行うために補助率の改正を行った。 	

事務事業名	122127 青少年センター事務運営事業	決算書 p. 307
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 青少年センターでの教育相談、学校や関係機関との連携や情報交換、適応障害の児童生徒への登校支援や学習支援 村立小中学校への心の教育相談員の配置 心理カウンセラーによる相談活動の実施 	事業費
		11,767,327
成 果	<p>青少年センター相談員 7名 (所長兼相談員1名、センター相談員1名、心の教室相談員5名) ※中学校担当2名、小学校担当3名 心理カウンセラー(臨床心理士及び公認心理師) 1名週1回 上記相談件数計(延べ件数) 青少年センター 588件、心理カウンセラー 102件(実人数 83人) 渡慶次小 245件、読谷小 248件、喜名小 96件、古小 281件、古南小 281件、 読中 1,868件、古中 363件</p>	
事務事業名	122130 校内自立支援室事業	決算書 p. 265
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 中学校1校へ校内自立支援員を配置し、学級担任等と連携を行いながら、校内自立支援室を利用する生徒個々の状況に応じた学習支援等を行った。 	事業費
		2,610,855
成 果	<p>校内自立支援員1名配置(読谷中学校) 支援人数(延べ1,365名) 支援対象人数31名(うち支援室を利用した人数 20名) 学級で授業を受けることができるようになった人数17名</p>	

(2)安全・安心な教育環境の充実

(事業費単位：円)

事務事業名	122201 小学校校舎等維持補修事業	決算書 p. 267
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 喜名小学校防音機器復旧のため、下記の事業を実施した。 ①喜名小学校防音機器復旧工事 ②喜名小学校防音機器復旧工事監理委託業務 	事業費
		150,369,376
成果	喜名小学校防音機器復旧工事を実施した事により、教育環境の確保が出来た。	
事務事業名	122215 給食調理場管理運営事業	決算書 p. 347
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ①読谷村立学校給食調理場運営委員会(2回開催) 内容：給食会計予算・決算・補正、給食費徴収状況、食材価格等の給食を取り巻く状況を報告 ②読谷村立学校給食調理場連絡協議会(2回開催) 内容：各学校給食担当者(教諭)へ学校給食業務等の確認(衛生管理・緊急時対応・アレルギー対応等)在籍報告、給食時間の訪問、食育事業等 ③衛生講習会の開催(年2回) 講師：一般社団法人沖縄県環境科学センター 1回目 環境検査・細菌検査の報告、食中毒の予防について 2回目 給食の安全について 	事業費
		1,908,586
成果	令和5年度給食費徴収率は99.5%であり、近隣市町村と比較して高い徴収率となっている。 衛生講習会を実施することにより、衛生面の意識向上に繋がり、食中毒等の事案は発生していないと考えられる。	
事務事業名	122219 読谷第二給食調理場運営事業	決算書 p. 351
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 給食調理場の微生物検査を実施(年2回) 検査実施：一般社団法人沖縄県環境科学センター(年2回) 給食の残量を減らすため小学6年生による献立作成を実際の給食メニューに反映させた。 	事業費
		81,920,396
成果	令和5年度も給食が原因となる食中毒や危険異物混入は無く、安全・安心な給食の提供ができた。	

－前頁より続き－

(事業費単位：円)

事務事業名	122220 給食調理場建設事業	決算書 p. 353
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化により、機能を読谷給食調理場へ移転した古堅給食調理場の解体工事を行った。 	事業費
		40,643,230
成果	老朽化した古堅給食調理場の解体工事を行い、その跡地については、古堅小学校の職員駐車者場用地として活用できた。	
事務事業名	122221 古堅南小学校校舎新增改築事業	決算書 p. 283
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 校舎新增改築工事のため、下記の事業を実施した。 ①校舎新增改築工事（建築工事）1工区、2工区、電気設備工事、機械設備工事 ②校舎新增改築併行防音工事（建築工事）1工区、2工区、電気設備工事、除湿換気設備工事 	事業費
		1,965,268,415
成果	校舎新增改築工事を実施した事により、安心・安全な教育施設の確保が出来た。	
事務事業名	122225 古堅小学校校舎新增改築事業	決算書 p. 285
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 古堅小学校校舎新增改築のため、下記の事業を実施した。 ①古堅小学校校舎耐力度調査委託業務 	事業費
		13,290,787
成果	耐力度調査業務を実施した事により、校舎改築に向けて事業が推進した。	

(3)地域と学校が連携した学び場づくりの推進

(事業費単位：円)

事務事業名	122301 地域学校協働活動推進事業	決算書 p. 309
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援ボランティア登録 地域学校協働活動推進員の配置 ボランティア養成講座の実施 地域学校協働活動推進本部会議 学校支援ボランティア活動 	事業費
		460,400
成果	学校支援ボランティア 新規登録 23 名 延べ 170 名 コーディネーター（地域協働活動推進員） 2 名 ボランティア活動 120 回 延べ 421 名 ボランティア養成講座 全 3 回 延べ 45 名	
事務事業名	122302 放課後子ども教室推進事業	決算書 p. 309
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 参加希望者を募り、村内 9 か所（横田、喜名、波平、長浜、大添、楚辺、大木、伊良皆、比謝）でコーディネーター及び安全見守り隊を配置し実施した。また、試行で村内 2 か所（古堅、渡具知）でコーディネーター及び安全見守り隊を配置し実施した。 	事業費
		5,401,867
成果	実施回数延べ 567 回 延べ 4,173 名、児童の登録者数 160 名 コーディネーター 6 名 安全見守り隊登録者数 59 名	
事務事業名	122303 家庭教育相談支援事業	決算書 p. 309
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子育て応援講座、お父さんの子育て講座、子育てまーる（お楽しみ講座、子育てリサイクル会）、支援チームの学習会等を行った。 	事業費
		826,518
成果	子育て応援講座 6 回延べ 80 名 お父さんの子育て講座 3 回延べ 32 名 お楽しみ講座 3 回延べ子ども 18 名、大人 19 名 子育てまーるリサイクル会 20 回 子ども延べ 217 名、大人延べ 385 名 支援チームの学習会 3 回延べ 26 名	

3) 地域文化の創造発展

地域文化の創造発展につきましては、村民総参加による読谷まつりを開催することにより、人と人とが織りなす伝統と創造のまつりにふさわしく、各種団体をはじめ、児童生徒による創造性豊かな演目は、手づくりのまつりとして、地域文化の創造発展と地域の活性化に大きく寄与しております。また、特設会場で行われるジュニアフェスティバルや老若男女が楽しめる闘牛大会、その他にも各種展示会やイベントが開催され、村内外から多くの方々にご来場いただき、相互の融和と親睦が図られております。

鳳ホールを活用した自主事業の推進につきましては、創作子どもミュージカル「未来のオキナワと三線」をテーマとした「コインコと星の三線～大切なものはいつもそばにある～」を上演しました。魅力ある公演の開催により、文化・芸術に触れる機会を創出しました。また、赤犬子子ども三線・箏・太鼓クラブの活動は、24年間の活動を称えられ、沖縄県文化協会より、団体賞を受賞しました。文化センターを活動拠点としており、読谷まつりでの「受け継ごう読谷(ふるさと)の心」、読谷村文化協会主催「こども文化祭」、「赤犬子子どもクラブ発表会」にて披露発表しました。

世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアムの南側駐車場が完成したことによって、今後はより一層、来場者に喜んでもらえる博物館活動に取り組んでまいります。

文化財の保全につきましては、開発における事前調査や試掘調査、工事立会の実施によって適切な保護措置を図ることができました。また、大湾アガリヌウガン遺跡の村文化財指定と用地取得によって、村内文化財の整備活用計画につなげることができました。

しまくとうばの保存継承につきましては、幅広い世代に向けた講座、展示会を開催したほか、広報誌やFMよみたんを活用した普及啓発活動に努めました。また、しまくとうば辞典発刊に向けた内容推敲を行い、村史編集室ホームページで公開している「読谷村しまくとうば単語帳」にその内容を反映し、多くの方々に閲覧いただいております。

歴史資料の整理活用につきましては、貴重資料のデジタル化を実施し、今後の活用に向けた整理を進展させるとともに、読谷村戦後復興資料及び村広報誌のデータベースを村史編集室ホームページで公開し、本村に特徴的な歴史の普及啓発に努めました。

海外移住者子弟研修生受入事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から事業を中止しておりましたが、3年ぶりに研修生を受け入れることができました。ブラジルから1人を受け入れ、三線や日本語等の研修を通して沖縄の伝統文化に触れ、沖縄への理解を深めました。

(1)地域文化の継承・発展

(事業費単位：円)

事務事業名	123101 読谷まつり運営事業	決算書 p. 65
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の第49回読谷まつりは、読谷村運動広場をメイン会場とした従来の読谷まつりを開催した。 第26回読谷まつり闘牛大会を石川多目的ドームで開催した。 	事業費 22,273,462
成果	読谷まつりの開催により、舞踊や古典音楽、自治会の伝統芸能を披露する場をつくることができた。 来場人数については、読谷まつり開催の2日間で53,600人来場し、出演者・関係者8,000人の参加、闘牛大会も満員の約3,000人の来場があった。	
事務事業名	123102 子ども文化育成事業	決算書 p. 333
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生を対象とした赤犬子子どもクラブ（三線・箏・太鼓）の稽古を5月から3月までの間、毎週土曜日の午前中に行う。 村内小学校のクラブ活動支援として、講師派遣を行った。 	事業費 2,184,000
成果	全35回開催し申込者数は、196名延べ4,260名 三線延べ3,037名、箏延べ607名、太鼓616名 5小学校へ講師派遣 参加数延べ793名 渡慶次小：三線6回延べ66名、茶道5回延べ55名、琉舞6回延べ36名 読谷小：三線5回延べ125名 喜名小：三線6回延べ84名 古堅小：三線8回延べ112名、茶道7回延べ63名 古堅南小：三線6回延べ66名、箏6回延べ60名、昔遊び6回延べ126名	
事務事業名	123103 鳳ホール自主事業	決算書 p. 333
取組内容	「創作子どもミュージカル」を実施する。	事業費 4,399,356
成果	創作子どもミュージカル 「コインコと星の三線～大切なものはいつもそばにある～」を上演 出演者：20名 来場者：500名余り	

(2)読谷の歴史・文化・芸術・自然の発信

(事業費単位：円)

事務事業名	123201 海外移住者子弟研修生事業	決算書 p. 81
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 外部や内部の関係機関と連携を図り、研修生1名を受け入れ研修を行った。 研修終了後に、研修報告会で成果報告を行った。 	事業費 1,016,223
成果	研修生受入人数の目標は2名だが、受入実績1名となった。	
事務事業名	123202 地域文化創造発展事業	決算書 p. 309
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> くるちの杜100年プロジェクトの趣旨に基づき、三線の棹であるくるちの育成及びくるちの杜の清掃維持管理を行った。 	事業費 222,954
成果	<p>年間を通して、除草作業を行い、植栽管理に努める事ができた。今年度は、育樹祭とトークライブを開催した。</p> <p>育樹祭では、村内外、県外からも多くの方が参加し盛り上がった。中ホールで開催したトークライブでは、「世界に広がる沖縄文化～三線を語り合おう～」と題し、様々な国々で広がる三線文化について話し合わせ、会場は、大いに盛り上がった。次世代に継承すべき沖縄伝統芸能の中心を担う三線、その棹の原材料である「くるち」の育樹、そして100年後、県産のくるちで三線製作、演奏をめざし、トークライブを通して、普及啓発に努めることができた。</p> <p>参加者 育樹祭：100名余り トークライブ：70名余り</p>	
事務事業名	123204 文化財維持管理事業	決算書 p. 319
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 座喜味城跡や木綿原遺跡、大湾アガリヌウガン遺跡を中心に、村内の文化財管理地において、草刈り清掃を行った。 座喜味城跡で繁茂する特定外来植物「ツルヒヨドリ」のモニタリング及び防除を行った。 	事業費 13,367,289
成果	<p>村内の文化財管理地の草刈り等は、来訪者の快適な見学と当該文化財の理解につながった。継続していくことで、更なる集客も見込まれる。</p> <p>維持管理を行うことにより、文化財の保全環境を整えることができた。</p>	

事務事業名	123206 返還軍用地埋蔵文化財発掘調査事業	決算書 p. 321
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財包蔵地の事前審査依頼の回答を 295 件行った。 開発調整のための試掘調査を 8 件（掘削 16 箇所）、トリー通信施設、嘉手納弾薬庫内等を含む工事立会を 7 件（掘削 163 箇所）行った。 これまで資料整理を行ってきた比謝川水系のグスク群の遺跡の資料まとめを行った。 	<p>事業費</p> <p>26, 381, 680</p>
成 果	<p>開発に伴う埋蔵文化財包蔵地の事前審査を行うことや、それに伴う試掘調査を実施することで、埋蔵文化財の保護を図ることができた。</p> <p>基地内の工事や試掘調査の立会を行うことで、文化財の有無を直接確認することができた。</p> <p>報告書発刊に伴う資料整理を行うことで、遺跡の性格を把握し、今後の活用および周知につなげることができた。</p>	
事務事業名	123208 村史編集事務管理事業	決算書 p. 323
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 村史編集委員会を 2 回、村史「言語編」専門部会を 11 回開催した。 問合せ・依頼対応を 350 件行った。 第 36 回平和創造展「八巻太一からみる読谷村」を開催した（6/15～8/29、入場者数 4, 296 人）。展示資料集を 500 部発刊し村内自治会・学校、県内資料保存機関等へ配布した。 世界のウチナーンチュの日企画展「世界のユンタンザンチュ展 受け継がれるユイマールの心」を開催した（10/26～11/30、入場者数 4, 611 人）。展示に関連した講座「文化人類学からみる沖縄移民」を開催した（38 名参加）。 歴史資料のデジタル化を行った。米国新聞（モーニングスター、那覇市歴史博物館所蔵）1962～67 年本村関連記事紙面をスキャンした。合計 710 点。 	<p>事業費</p> <p>12, 600, 906</p>
成 果	<p>村史「言語編」専門部会をほぼ毎月開催し、発刊に向け進展することができた。</p> <p>村民、一般利用者、村内外各種団体、マスコミ、研究者など各方面からの協力依頼や問合せに対応し村史編集室に蓄積した資料・情報を広く周知、活用することができた。</p> <p>企画展、講座、また村内学校や県内教育機関などからの依頼に応じた平和学習、歴史・文化講座を実施し、本村の歴史と文化を広く普及することができた。</p>	

事務事業名	123209 博物館展示事業	決算書 p. 335
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 企画展では、令和2・3年度新収蔵品展、読谷アンデパンダン展、読谷山花織展、読谷児童生徒作品展、読谷やちむん展を開催した。 常設展1で金城次郎関連資料の展示、常設展3で「空想の中の風景 記憶・心・夢」をテーマに絵画の展示を行った。 	事業費 1,559,165
成果	<p>企画展開催期間中は、令和2・3年度新収蔵品展4,780名、読谷アンデパンダン展2,210名、読谷山花織展に3,315名、読谷児童生徒作品展2,215名、読谷やちむん展4,950名が来館した。</p> <p>満足度についてのアンケートでは、「とてもよかった」または「よかった」と答えた割合が、企画展では97.3%、常設展では90.6%であった。</p>	
事務事業名	123210 博物館資料収集事業	決算書 p. 335
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 読谷やちむん展出展作品から、11点の作品を購入した。 	事業費 827,600
成果	<p>読谷村の伝統工芸品であるやちむんについて、博物館で収蔵するのに相応しい作品を選定し、受入することができた。これにより、今後の展示を充実させ、読谷村の文化を後世に残すことに寄与した。</p>	
事務事業名	123211 博物館教育普及事業	決算書 p. 335
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 座喜味城跡周辺の自然環境調査を行い、地質・動物編ハンドブックを発刊した。 講座は、「星空観察会」（参加者32名）、高校生版画ワークショップ（4名）、昆虫採集（6名）、野鳥観察会（13名）、未就学児向け美術ワークショップ（23名）、中学生ガラス工芸体験（5名）を開催した。 中学生職場体験6名、学芸員実習生3名を受け入れた。 令和4年度年報・紀要第47号を発刊した。 ミュージアム運営協議会を2回開催した。 	事業費 11,754,855
成果	<p>講座に参加し、アンケートに回答いただいた方全員が、講座の満足度を「とても良かった」または「良かった」と回答した。ほかにも発刊物、実習生の受入などとおして、読谷村の歴史・文化・自然や、ユンタンザミュージアムの取組を周知し、読谷村の理解者を増やすことができた。</p>	

事務事業名	123212 博物館管理運営事業	決算書 p. 339
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産座喜味城跡の麓に建つユンタンザミュージアムとして、沖縄・読谷の魅力的な歴史・文化・芸術を広く紹介するために、来訪者が快適に見学できる環境づくりと利便性の向上、さらには安全性を確保するために施設・設備の維持管理を行った。 入館者の受付等を行い、パンフレット配布等をはじめ館内の案内を行った。 	<p>事業費</p> <p>48,877,670</p>
成果	<p>多言語のパンフレットを作成して配布することで、インバウンドの来訪者を含め多くの方に喜ばれた。</p> <p>需用費（施設修繕費）で館内空調機器をフロンガスから炭化水素ガス（自然冷媒）に入替えを行ったことで、今後の節電と電気料の削減、環境への配慮が見込める。</p> <p>日々の館内外の清掃によって、来訪者から高い評価の声があった。</p>	
事務事業名	123213 沖縄語保存継承事業	決算書 p. 341
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 辞典作成のため内容推敲（校正）を行い、その内容をHP「読谷村しまくとうば単語帳」へ反映した。（単語の意味・説明、約14,000件の追記、修正） 読谷村史編集室Youtubeチャンネルにしまくとうば関連動画（講座等）28本を公開した。 しまくとうば講座（実施回数31回、総受講者数701名）のほか、普及継承活動として展示会（9/1～10/1、入場者数1,709名）、各自治会への呼びかけ（12回400名）、村広報誌での記事連載（毎月）、FMよみたんでの周知（11回）、各種団体との普及継承のための意見交換会（6回）を実施した。 	<p>事業費</p> <p>12,807,484</p>
成果	<p>HP（しまくとうば関連データベース）の総アクセス数が前年度50,665回からさらに増加し、91,351回となり、多大な普及効果が得られた。</p> <p>子ども世代を中心に一般村民向け講座も実施し、満足度86%（前年度82%）の高評価を得た。また展示会や広報誌のアンケート結果でも「村の文化、言葉を知ることができて良い」と好評価を得た。</p>	

事務事業名	123214 ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業	決算書 p.341
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ユンタンザミュージアムと世界遺産座喜味城跡および周辺の自然・歴史・文化資源を一層活用できるよう、周遊する観光客の誘客や来訪者の利便性を確保するために駐車場及びトイレ等便益施設の整備を行った。それによって、本村の教育・文化・観光における拠点施設としての充実が図られた。 	事業費 208,772,832
成果	駐車場の整備（大型バス10台、普通乗用車51台、軽自動車3台、身体障がい者用2台、合計66台分） 便益施設の整備（トイレ、東屋2棟）	
事務事業名	123220 歴史資料整理活用事業	決算書 p.325
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 村史編集室収蔵資料（図書、公文書、写真等）12,026点の整理、登録、目録化を進めた。 元村長より寄贈された資料群（復帰前資料が中心）のうち貴重資料は、ファイリング、デジタル化を行い、531件のデータベース化を完了した。 戦後復興初期の貴重資料101点、本村の戦後の歩みを示す歴史資料である村広報誌記事17,105件をデジタル化、テキスト化しHP公開した。 	事業費 14,331,458
成果	収蔵資料の整理、登録が進み、貴重資料の再発見により、今後のレファレンス、教育利用などでのスムーズな活用が見込めるようになった。 読谷村戦後復興資料、村広報のデータベースをウェブサイトで公開することにより、村の戦後史を理解する一助とすることができた。 戦後復興資料サイトの総閲覧数は1,098回、村広報サイトの総閲覧数は12,000回（ともに2/29～6/30の間）、Web上アンケートでは両サイトとも本村歴史文化への理解が深まった割合80%以上となり、多くの利用者から高い評価を得ている。	
事務事業名	123221 フィールドミュージアム整備活用事業	決算書 p.341
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> グスク時代開始期の遺跡である大湾アガリヌウガン遺跡と周辺環境を保全し、村の歴史や文化の魅力を発信するフィールドミュージアムとして整備・活用する事で、村内文化財及び文化観光施設の魅力の向上を図る。 	事業費 112,523,000
成果	令和5年8月に大湾アガリヌウガン遺跡を村の文化財に指定し、用地を買い上げることで今後の整備活用計画につなげることができた。	

4) 生涯学習の充実

生涯学習の充実につきましては、「読谷村まなびあいプラン」(第2次読谷村生涯学習推進計画・読谷村スポーツ振興計画・第四次読谷村子どもの読書活動推進計画)を策定しました。生涯を通して学べる機会の創出として、ふれあい交流館を中心に各年齢層を対象とした講座・教室等を開設し、気軽に利用できる生涯学習環境の充実に努めております。また、「まなびフェスタ」を開催し、関係団体との連携を深めるとともに、多くのまなびの場を提供しております。

社会教育関係団体の育成・支援につきましては、各種社会教育学級事業により、団体のニーズにあった学習会の企画運営を支援することで、団体活動の活性化や資質向上に寄与しております。また、合同研修会やミーティングを実施し、各種社会教育活動や地域活動におけるリーダーの育成を図り、各団体間の連携協力に進めております。

図書館の運営につきましては、図書資料及びレファレンス機能を活用し、各種課題の解決に対応する情報を広く提供することで、地域支援型図書館としての村民サービスに努めております。また、子どもと本の出会いを通じた感動体験・共有体験の充実を図るとともに、電子図書館サービスの利活用に努め、来館の困難な利用者層へのサービス拡充に取り組んでおります。

(仮称)読谷村総合情報センターへの移行につきましては、引き続き、施設運営に係る調整や、郷土資料の整備に取り組んでおります。

(1)誰でも学べる環境づくりの推進

(事業費単位：円)

事務事業名	124101 生涯学習事務運営事業	決算書 p.311
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「読谷村まなびあいプラン」(第2次読谷村生涯学習推進計画・読谷村スポーツ振興計画・第四次読谷村子ども読書推進計画)を策定。 ・ 学習等供用施設の修繕(5か所) ・ 社会教育関係団体への補助等コミュニティ助成金の活用による備品購入 ・ 学供施設消防施設修繕 	事業費
		14,726,878
成果	「読谷村まなびあいプラン」(第2次読谷村生涯学習推進計画・読谷村スポーツ振興計画・第四次読谷村子ども読書推進計画)を策定した。 学習等供用施設の消防設備修繕(5か所)を行った。 コミュニティ助成金を活用し、自治会用備品の購入を行った。 (楚辺自治会 備品 43点) 社会教育関係団体への補助(5団体)を行った。	

事務事業名	124102 各種社会教育学級事業	決算書 p. 313
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育委託学級 3 団体へ委託費の交付 ・ 読谷小学校 PTA ・ 大添子ども会 ・ 読谷村子ども会育成連絡協議会 	事業費
		150,000
成果	委託学級として、各々の学習テーマを設け、積極的に、会員が学習する機会となり、会活動の活性化や学びを深めることができた。	
事務事業名	124103 まなびフェスタ事業	決算書 p. 313
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ まなびフェスタの開催 ・ (生涯学習講演会、社会教育関係団体活動展示、サークル舞台及び展示発表、子ども体験活動) 	事業費
		471,961
成果	食育講演会、サークル発表会、子ども体験わくわくワーク（お仕事体験）、OIST 科学ミニレクチャー、SDG's 体験、モルック体験、婦人会フリーマーケット、団体活動展示 2 日間で 41 項目の講座等を開催し、延べ 4,300 名参加があった。	
事務事業名	124104 図書館運営事業	決算書 p. 315
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①図書館資料の貸出サービス、②予約・リクエスト・レファレンスサービス、③講座や主催事業の実施、④図書館見学・職場体験等の受け入れ、⑤嘉手納町立図書館との相互利用展開、⑥学習室等による学習の場の提供、⑦図書館ボランティア活動支援、⑧電子図書館サービス、⑨（仮称）読谷村総合情報センターへの移行に向けての調整・整備 	事業費
		32,862,338
成果	<p>①貸出件数（98,729 件）、②利用人数（21,428 人）、③予約・リクエスト（2,058 件）、④レファレンス（3,263 件）、⑤嘉手納町立図書館の相互利用人数・貸出件数（5,258 人、25,125 件）、⑥学習室利用（4,339 人）、⑦インターネット利用（174 人）、⑧AVブース利用（499 人）、⑨電子図書館の貸出冊数・利用人数（312 人、1,091 件）</p> <p>来館が困難な利用者へのサービスとして電子図書館サービスを継続するとともに、ふるさとづくり基金を活用し、電子書籍の購入を行った。（電子書籍所蔵 1,337 冊、電子雑誌閲覧サービスタイトル数 198 タイトル）</p> <p>読谷村ブックスタート事業の一環として健康推進課と連携し、乳児健診会場にてブックスタートパックの配付を行った。（4 回、87 セット配布）</p> <p>「第 2 次読谷村生涯学習推進基本計画」、「読谷村スポーツ振興計画」の策定と合わせ「第四次読谷村子どもの読書活動推進計画」の策定を行った。</p> <p>（仮称）読谷村総合情報センター内への移転に向け、図書館運営サービスについての民間事業者との調整、移管予定の郷土資料の確認・登録作業を継続して行っている。</p>	

－前頁より続き－

(事業費単位：円)

事務事業名	124106 陶芸研修所運営事業	決算書 p. 327
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陶芸研修所の機能改善 ・ 親子やちむん教室等開催 	事業費
		6,608,277
成果	親子やちむん教室の開催 30組 参加者 62名 やちむん体験教室の実施 サークル等による陶芸研修所の利活用 講座等：延べ 215名(6教室) サークル：延べ 580名(2団体) 保育所：延べ 40名(2園) 一般貸館：49名(団体1、個人3) 合計 884名	
事務事業名	124108 ふれあい交流館自主事業	決算書 p. 329
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあい交流館自主事業として、16の講座教室等を計画し、実施する。自治公民館の事業活性化のため、事業委託を行い、自治公民館自主講座等を開催する。 	事業費
		845,209
成果	講座・教室の開催数及び参加者 開催数：26回 延べ人数：1,180名 自治会主催公民講座への支援(2自治会：楚辺、大湾)	

－前頁より続き－

(事業費単位：円)

事務事業名	124109 文化センター施設管理運営事業	決算書 p. 329
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 保守点検等による文化センター施設維持管理 施設修繕対応、生涯学習施設としての適切な利活用を図った。 	事業費
		57,616,326
成果	維持管理に関する個別施設計画の策定 鳳ホール空調改修工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> 鳳ホール：貸館日数 107 日、貸館件数 107 件、来場者数 25,919 名 ふれあい流館：貸館日数 306 日、貸館件数 1,968 件、来館者数 49,693 名 	
事務事業名	124110 鳳ホール事務運営事業	決算書 p. 333
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県公立文化施設協議会、全国公立文化施設協会へ負担金を拠出し、読谷村文化協会へ補助金を交付することで、文化活動の支援を行う。 	事業費
		1,002,349
成果	以下の団体に負担金を拠出し、補助金を交付することにより、文化振興活動への支援を行った。 【負担金】 沖縄県公立文化施設協議会、全国公立文化施設協会 【補助金】 読谷村文化協会 鳳ホール来場者数：25,919 人 読谷村文化協会の拠点を文化センター団体事務室内に設けることができた。	

(2)地域を担う人材育成の推進

(事業費単位：円)

事務事業名	124202 社会教育関係指導者育成事業	決算書 p. 313
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体（青年団協議会、婦人会、子ども会育成連絡協議会、PTA 連合会）及び読谷村公民館連絡協議会、社会教育委員が一同に会し、研修会及びミーティングを行った。ジュニアリーダー研修でも様々なプログラムを通して人材育成を行った。 	事業費 114,890
成果	社会教育関係団体研修 2 回参加延人数 39 名、社会教育関係団体合同ミーティング 2 回参加延人数 30 名、ジュニアリーダー研修 9 回参加延人数 162 名、中頭地区ジュニアリーダー研修 1 回参加 3 名。	
事務事業名	124204 二十歳の集い式典運営事業	決算書 p. 315
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度から名称を成人式から改め、引続き二十歳になった皆さんの社会参加へ自覚と高めるとともにその祝福を村民あげて行う。アトラクションに、リーゼント良龍さんをお招きし、絵本の読み聞かせを行った。 	事業費 282,270
成果	対象者 475 名中参加は 345 名、参加率 72.6%であった。実行委員会 10 名（当事者から応募）、読谷村青年団協議会の運営協力を得て、ビデオ撮影を行い、配信をすることができた。また、能登半島地震への募金活動を急遽取組み、社会貢献活動に繋がられた。	
事務事業名	124205 村子ども会交流事業	決算書 p. 315
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県白川村子ども会育成協議会との交流が終了となったことにあわせ、次の交流先を選定する。村内小学校 5・6 年生及び中学生を対象に、1 泊 2 日の伊江島民泊交流を子ども会育成連絡協議会と共に行った。 	事業費 27,072
成果	県外子ども会（教育委員会）へ交流先へのアプローチを図っている。その間、暫定的に県内交流として、読子連と共催による「伊江島民泊交流」を実施した。また、ジュニアリーダー育成と平行して行った結果、ジュニアリーダークラブを結成することができた事は、大きな成果となった。	

5) スポーツの推進

スポーツの推進につきましては、令和4年度に実施した屋内運動場の基本設計の成果を基に、実施設計を行いました。今後も屋内運動場（ドーム）の新設、多目的広場の人工芝化等を年次的に進めてまいります。また、男女7人制ラグビー日本代表をはじめとする各種スポーツキャンプの受入れにあたっては、良好な利用環境を提供いたしました。

スポーツに触れる機会の創出につきましては、インターネットからの申込みを可能にする等、参加しやすいイベントの実施に取り組みました。また、スポーツに親しむ機会づくりやスポーツを支える体制づくり等を充実させるために、「読谷村まなびあいプラン」（スポーツ振興計画含）を策定しました。

(1)スポーツ環境の充実

(事業費単位：円)

事務事業名	125102 後援団体育成事業	決算書 p. 343
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下の団体に対して負担金及び補助金を交付することにより、活動支援を行った。 <p>【負担金】 中頭郡スポーツ協会、沖縄県スポーツ推進委員協議会、中頭地区スポーツ推進委員協議会、中頭地区社会体育研究右協議会</p> <p>【補助金】 読谷村体育協会、少年野球読谷支部、読谷村ソフトボール協会、読谷村ラグビー協会、読谷村サッカー協会</p>	事業費
		13,269,382
成果	<p>各種団体への負担金及び補助金を交付して、各種団体の活動支援を行った。各種団体共に大会等の実施に取り組み、競技力向上、青少年の健全育成に寄与した。</p>	

－前頁より続き－

(事業費単位：円)

事務事業名	125103 体育施設運営事業	決算書 p. 355
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 管理する体育施設を適切に維持管理すること、利便性向上を図るための備品の購入を行うことにより、安心・安全な体育施設の利用に寄与することで、村民の施設利用及び各種スポーツキャンプの受入を行う。 	事業費
		97,642,523
成果	<p>下記のとおり、体育施設を利用してもらうことができた。スポーツキャンプについても受入れを実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① オキハム読谷平和の森球場 274 件 (17,192 名) ② 読谷村多目的広場 284 件 (15,296 名) ③ 読谷村運動広場 221 件 (28,297 名) ④ 読谷村テニスコート 119 件 (1,810 名) ⑤ 読谷村陸上競技場 151 件 (20,038 名) ⑥ 残波岬テニスコート 616 件 (3,533 名) ⑦ ZANPA プレミアム残波岬ボールパーク 112 件 (5,100 名) ⑧ 読谷村トレーニング室 14,949 件 (14,949 名) ⑨ ゆんたんざソフトボール場 100 件 (10,392 名) ⑩ 読谷村体育センター 771 件 (9,598 名) 	
事務事業名	125105 屋内運動場整備事業	決算書 p. 357
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 屋内運動場整備に向けた実施設計を行った。 	事業費
		118,751,519
成果	屋内運動場実施設計の完了。	
事務事業名	125107 スケートボード場整備事業	決算書 p. 357
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 村民から要望のあるスケートボード場の整備工事を行った。広場面積：約 1,000m²、飛び出し防止柵設置、注意書き看板設置 	事業費
		18,779,786
成果	スケートボード場工事の実施完了により、スケートボード人口の増加が期待される。	

(2)スポーツとの連携

(事業費単位：円)

事務事業名	125201 スポーツ推進委員運営事業	決算書 p. 343
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 本村におけるスポーツ推進のため、イベントや講座、教室を開催し村民に対しスポーツ実技の指導や助言等を行う。 	事業費
		1,084,640
成果	残波岬駅伝大会運営スタッフ派遣 第61回沖縄県スポーツ推進委員研究大会開催地として運営・参加 新体力テスト実施（読谷けんこうまつり） 新春トリムマラソン・小学生駅伝大会開催 ウォーキング大会開催	
事務事業名	125202 各種スポーツ教室運営事業	決算書 p. 345
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 村民にスポーツを楽しんでもらうために、各種スポーツ教室の実施・運営を行った。 	事業費
		1,396,368
成果	親子水泳教室7回 延べ104名、陸上教室1回 27名 タグラグビー教室7回 延べ81名 コンディショニング会議 参加者約800名 コンディショニング講座8回 延べ64名	
事務事業名	125203 各種スポーツ大会運営事業	決算書 p. 345
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 村民が生涯にわたってスポーツに親しみ、体力の向上や健康増進を図ることを目的に各種スポーツ大会を実施・運営した。 	事業費
		417,342
成果	予定していた下記大会を実施することができた。 教育長旗争奪中学生ソフトボール大会（男子2女子16チーム参加） 読谷けんこうまつり （古希・シニアソフトボール大会 5チーム参加、新体力テスト 40名参加） 新春トリムマラソン及び小学生駅伝大会 延べ352名参加（トリムマラソン207名、小学生駅伝145名（29チーム）） リゾートウォーキング大会（25名参加）	

3 ^{ウマンチュ}御真人^{ワラ}や^{フクティガンジュウヌシマ}笑い誇^テ健康の村（未来が輝くハツラツむらづくり）

1) 地域福祉の推進

地域福祉の推進につきましては、令和5年度で3年目となる「第3次読谷村地域福祉計画」の理念『子どもからお年寄りまで、皆で支え合い、共に生きるむらづくり』の実現を目指して、「1 行動する村民・地域づくり」、「2 利用しやすい福祉基盤づくり」、「3 取組みを広げる仕掛けづくり」の3つの目標に取り組み、地域や関係機関・団体等と連携し、自助・互助・共助・公助の4つの助が適切に機能するよう、地域福祉の推進を図っております。

繋がり支え合う村民・地域づくりの推進につきましては、民生委員児童委員の活動支援として、民生委員児童委員協議会への運営補助を行っております。また、小学校区ごとに主任児童委員を配置し、地域や学校、社会福祉協議会との連携体制の構築が図られております。

住みよい福祉基盤づくりにつきましては、生活困窮者への相談支援窓口を社会福祉協議会及び福祉課窓口を設置し、困難を抱える当事者の生活再建、自立援助の推進を図っております。

(2)住みよい福祉基盤づくりの推進

(事業費単位：円)

事務事業名	131201 社会福祉事務運営事業	決算書 p. 115
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活保護相談 226 件 ・ 女性相談 44 件 <ul style="list-style-type: none"> DV 16 件 離婚 13 件 疾病 8 件 経済 2 件 その他 5 件 ・ 生活困窮者支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 1 一次相談事業 <ul style="list-style-type: none"> 相談件数 62 件 住居確保給付金 14 件、就労 13 件、家計 8 件、 住居（転居） 4 件、債務 4 件、生活保護 4 件、 家族問題 4 件、離婚 3 件、貸付 2 件、 給付金 2 件、疾病 1 件、その他 3 件 2 地域における共助の基盤づくり事業 <ul style="list-style-type: none"> ①心配ごと相談所 <ul style="list-style-type: none"> 法律相談（月 1 回）19 件、就労相談（週 1 回）3 件、 アルコール問題相談（月 1 回）5 件 性・命に関する相談 2 件 ②くらしの心配ごと相談会（1 回開催）相談件数 24 件 <ul style="list-style-type: none"> 家計・法律・健康保険税・就労・生活保護・生活福祉資金 貸付などの合同相談会 ③相談業務 <ul style="list-style-type: none"> 福祉コーディネーターによる相談支援 延べ 1,516 件 生活困窮 248 件、病気・健康 232 件、依存症・精神疾 患 147 件、生活支援（見守り等）143 件、住居 70 件 ④地域支え合い事業 <ul style="list-style-type: none"> イベント型フードバンク（6 回開催）82 件、 食料支援件数 552 件 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <p style="text-align: center;">74,655,760</p>
成 果	<p>生活保護相談では、生活保護申請により生活の安定を図ることができ、生活保護に該当しない場合も、福祉課内の一次相談窓口案内することで生活再建のサポートに寄与した。</p> <p>女性相談では、福祉事務所、女性相談センターに出向くことなく、問題の解決が可能なケースが多々あり、女性相談窓口としての機能を果たした。</p> <p>一次相談窓口を役場内に設置することによって、利用者の利便性の確保に寄与した。</p> <p>相談会等で専門職による対応が行われたことにより、生活困窮状態等の合理的な解決策の提示に寄与した。</p>	

2) 健康づくりの推進

健康づくりの推進につきましては、各種健（検）診の充実を図るため、公民館等で実施する集団健診では、基本健診とがん検診を同時実施し、土日・夜間の健診も実施しております。また、医療機関での個別健診や人間ドック等のうち、基本健診分・各種がん検診分、令和5年度から新たに実施した歯周病検診の費用助成も行うことで、住民の利便性向上と健診体制の充実に努めております。

健康相談・指導体制の充実につきましては、健診結果を基に特定保健指導や重症化予防、若年者への保健指導等を行っております。また、対象者の希望に応じた休日・夜間の健康相談会を開催することで、相談・指導をとおした健康の維持増進に繋げております。

母子保健事業においては妊産婦並びに乳幼児の健康の保持増進を図るため、妊産婦健診費用の費用助成や産後ケア事業を行うとともに、新たに新生児聴覚検査の費用助成や3歳児健診での視力屈折検査を実施しております。

健康増進センターでは、村民の健康の保持増進を目的に、幅広い世代を対象とした運動教室や介護予防事業などを実施し、村民が親しみやすく利用しやすい健康づくりの拠点としての施設運営に努めております。

(1)各種健（検）診の充実

(事業費単位：円)

事務事業名	132101 成人保健事業	決算書 p.179
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団住民健診とがん検診の同時実施は 27 回予定し、さらに 2 回を追加して 29 回実施した。 ・ がん検診については、令和 5 年度より国の指針に沿った実施とし、一部のがん検診の対象年齢・受診間隔を見直した。 ・ 集団婦人がん検診は 9 回し、さらに 1 回を追加して全 10 回実施した。 ・ 歯周病検診を 8 月から実施した。(令和 5 年度新規) ・ 対象者数 2,273 人 (対象年齢 40 歳・50 歳・60 歳・70 歳) 	事業費
		33,376,074
成 果	<p>集団健診（平日・土日）の実施機会を増やすことで、住民が受診しやすい体制整備が図られた。</p> <p>がんの予防・早期発見の推進に向けて村民にがん検診の機会を広く提供した。</p> <p>受診者数</p> <ul style="list-style-type: none"> 胃がん (965 人) 肺がん (3,117 人) 大腸がん (2,662 人) 子宮がん (979 人) 乳がん (719 人) <p>保険者による健診実施義務下でない村民（20～39 歳および生活保護受給者）の一般健診受診・健康相談実績【受診人数（令和 5 年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 40 歳未満 (88 人) 生活保護一般健診 (29 人) <p>歯周病検診を実施。受診者数 89 人 受診率 3.9%</p>	

事務事業名	132102 母子保健事業	決算書 p. 181
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親子（母子）健康手帳の交付時や妊産婦健康診査等の機会を通じて、保健指導を実施した。 ・産後ケア事業を実施することにより、産後母子の心身の健康の保持及び増進に寄与した。 ・乳幼児健康診査での保健指導を実施することにより、乳幼児の発達や健康的な生活習慣の確立に向けた、指導・助言、情報提供を行った。 ・新生児聴覚検査の費用助成を行った。 ・村独自で2歳児健康ひろばを開催し、主に歯科衛生士による歯みがき指導等を実施し、う蝕防止に努めた。 ・3歳児健康診査にて、新たに視力屈折検査を導入した。 ・3歳児健康診査等で、公認心理師によるこども心理相談を実施し、発達上の課題の早期対応と早期支援に努めた。 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <p style="text-align: center;">72,300,932</p>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ①親子（母子）健康手帳の交付件数：332件。 親子（母子）健康手帳交付時の保健指導実施率：100% ②妊婦健康診査受診数14回分（延べ人数）：3,909人。 ③産婦健康診査受診数2回分（延べ人数）：599人。 ④産後ケア利用者数（延べ人数）134人 ⑤新生児聴覚検査の費用助成実施数203件 ⑥乳児一般健康診査受診率（91.5%）、受診者数615人。 1歳6か月児健康診査受診率（92.2%）、受診者数312人。 2歳児健康ひろば受診率（89.4%）、受診者数313人。 3歳児健康診査受診率（90.0%）、受診者数391人。（視力屈折検査要精査全数実施） ⑦こども心理相談実施数（17回）、延べ利用者数36件。 	

(2)感染症対策と予防接種の充実

(事業費単位：円)

事務事業名	132201 予防接種事業	決算書 p.183
取組内容	<p>接種率向上に向け、個別通知及び周知活動による接種勧奨を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別通知：17回（毎月年齢到達12回、再通知(DT・MR2期)2回、成人風しん・子宮頸がん年齢到達・子宮頸がんキャッチアップ者をそれぞれ1回、転入者は随時) ・ 周知活動21回（電話・訪問6回、SMS2回、乳幼児健診時勧奨12回、広報誌2回、庁舎内デジタルサイネージ2回、公式LINE・ホームページ1回) ・ 1歳6か月児健診時、MR1期未接種の方について村内医療機関での即日ワクチン接種を受けられる体制を整えた。 (令和5年12月より村内医療機関3か所) 	<p>事業費</p> <p>115,467,978</p>
成果	<p>定期予防接種を実施することにより、A類疾病の流行及びまん延を防ぐことができた。</p> <p>接種率(%) 種類(1回目・2回目・3回目・追加接種)</p> <p>ロタウイルス(85.5・87.5・16.0)</p> <p>B型肝炎(91.6・94.5・89.5)</p> <p>ヒブ(93.3・95.6・98.3・89.6)</p> <p>小児肺炎(93.3・96.5・99.4・88.0)</p> <p>4種混合(101.7・106.1・106.7・91.8)</p> <p>DT(72.2)</p> <p>BCG(84.0)</p> <p>MR1期(93.5)</p> <p>MR2期(88.7)</p> <p>水痘(86.2・61.1)</p> <p>日本脳炎(80.7・86.3・75.2・75.5)</p> <p>子宮頸がん予防(28.4・20.9・17.7)</p> <p>成人風しん(24.4)</p> <p>おたふくかぜ(81.3)</p> <p>※成人風しんワクチン接種は、抗体検査で陰性者のみ接種</p>	

－前頁より続き－

(事業費単位：円)

事務事業名	132202 高齢者予防接種事業	決算書 p. 185
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 接種率の向上に向け、接種勧奨・周知活動を実施。 肺炎球菌3回（個別通知1回、広報誌記載1回、村ホームページ掲載1回） インフルエンザ2回（広報誌記載1回、村ホームページ掲載1回） 接種件数 インフルエンザ接種数 3,573人 肺炎球菌の接種数 300人（65歳以上152人・経過措置148人） 	<p>事業費</p> <p>16,235,570</p>
成果	<p>高齢者の予防接種を行うことで、疾病発症予防及びまん延防止に寄与した。 高齢者インフルエンザ接種率 36.7% 高齢者肺炎球菌 29.8% 肺炎球菌の予防接種については、令和5年度をもって国の経過措置が終了した。</p>	

(3)健康相談・指導体制の充実

(事業費単位：円)

事業名	国保各種保健事業（国保特会各種健康教育事業、国保特会各種健康相談事業、国保特会特定健康診査等事業）	(特)決算書
主な事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査事業 特定保健指導事業 市町村国保ヘルスアップ事業を活用した保健事業 ア. 特定健診受診率向上対策事業 イ. 40歳未満生活習慣病予防健診・保健指導事業 ウ. 糖尿病性腎症重症化予防事業 エ. 健康教育事業 沖縄県国保特別調整交付金を活用した保健事業 ア. 国保二次健診事業 イ. 未受診者対策事業 ウ. パーソナルトレーニング事業 <p>一般健診（40歳未満） 260人 受診率 12.5% 特定健診 26,267人 受診率 38.6%(令和6年8月1日時点) 特定保健指導実施率 56.3%(令和6年8月1日時点) 保健指導（実人数）2,210人 二次健診 22人</p>	<p>事業費</p> <p>49,596,848</p>

(4)生涯にわたる健康づくりの推進

(事業費単位：円)

事務事業名	132401 保健衛生事務運営事業	決算書 p.177
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読谷村食生活ボランティアぬちぐすい活動助成補助金交付定例会 11 回（参加者：延べ 86 名） ・ 自主活動 6 回（会員参加者：延べ 30 名） 小中学校新 1 年生へ朝食啓発リーフレット配布（小学生 466 名、中学生 515 名）、親子クッキング：8 組 20 名、大木わんぱく広場調理実習：4 名、まなびフェスタ「ぬちぐすいブース」での情報発信 80 名、けんこうまつり来場者へ野菜料理の試食・レシピ配布：50 名、楚辺婦人会調理実習：11 名 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <p style="text-align: center;">376,594</p>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金交付 毎月の定例会や自主事業の実施等が図られ、食育に関する啓発活動の推進が図られた。 ・ 自主事業 新一年生の小中学生保護者へリーフレットを配布することで、日頃の食生活の重要性を伝えることができた。 親子クッキング教室では、料理を作る活動を通して親子の触れ合いの場を提供し、わんぱく広場での調理実習も含め、子どもの時期からの食に関する関心を高める機会を提供した。 まなびフェスタでのイベント開催により、関係部署との連携協力を通して、多くの方へより効率的に食育に関する情報提供をすることができた。 	

事務事業名	132402 地域保健活動推進事業	決算書 p. 185
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村民の健康に関する知識、意識の向上、各種健診の受診率向上に関する取り組みとして、健康まつりや健康教育等を実施した。 ・ 健康まつり：10月7日実施、受付記録（世帯代表 141 名）、歯科講演会参加 61 名。 血管年齢測定、血圧測定、健康相談、栄養バランスチェック体験、健康パネル展、ベジチェック、村内運動施設紹介、健康増進センターの無料開放、キッズサッカー大会等を実施。 ・ 健康教育 禁煙予防教室 1 回(古堅中学校)、就労支援施設講演会 1 回、ファミリーサポートセンター養成講座 2 回（乳幼児の栄養 11 名、小児保健の基礎知識 14 名）を実施。 健康づくり推進協議会 4 回実施。 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <p style="text-align: center;">8,192,280</p>
成 果	<p>健康まつりでは、商工会との連携や、村サッカー協会の協力によるキッズサッカー大会を実施することで、例年以上に多くの働き盛り世代の参加がみられた。</p> <p>歯科講演会をとおして、多くの参加者に対し歯周病検診への意識啓発や情報発信に努めた。</p> <p>健康教育については、中学校での禁煙教室を継続的に実施することで、喫煙による健康への悪影響について早期に意識啓発を図ることができた。</p> <p>読谷村ファミリーサポートセンターや就労支援施設での健康教室を通して、サポートに必要な情報提供を行うことができた。</p>	

事務事業名	132403 健康づくり推進事業	決算書 p. 187
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会での健診受診勧奨ののぼりや看板設置などの取り組みに対し、特定健診等未受診者対策地域交付金を交付した。交付団体数 26 自治会。 ・地域に密着した健康づくりの推進及び充実を図ることを目的に、健康づくりサポーターを委嘱し、健康診査の受診勧奨に取り組んだ。 委嘱人数：52 人 研修・養成講座：3 回（定例会 3 回を実施）、 地区定例会 19 回、未受診者個別訪問件数 1,459 人 ・FMよみたんでの放送を活用した健診案内、健康情報の発信による受診勧奨を行った。 集団健診案内 CM：53 回、運動・栄養等の情報発信：4 回 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <p style="text-align: center;">3,628,942</p>
成 果	<p>自治会による受診勧奨を行ったことで、23 自治会で令和 4 年度の受診率を上回る結果となった。 未受診者個別訪問により、272 人が健診受診につながった。 健康づくりサポーターの研修（定例会）を実施することで資質向上を図り、地域における健康づくりや健診受診に関する取組の中心的役割を担った。 FMよみたんを活用することで、住民健診の案内や健康に関する情報発信を行った。</p>	
事務事業名	132404 健康増進センター管理事業	決算書 p. 189
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による、施設の管理運営を実施した。 ・トレーニング室、スタジオ、温水プールを有効活用し、個人利用や教室開催による集団指導を実施した。 ・入館者数 60,729 人 ・介護予防教室は 12 教室を実施（予定 10 教室） ・自治会実施の教室は、14 自治会 319 回、延べ 2525 人に対して実施した。 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <p style="text-align: center;">27,344,719</p>
成 果	<p>令和 5 年度入館者数 60,729 件であり、令和 4 年度の 1.04 倍の増となった。</p>	

3) 高齢者福祉の推進

高齢者福祉の推進につきましては、一般介護予防事業の実施や各自治会におけるゆいまーる共生事業の取り組みなどにより、高齢者の社会参加や健康増進、生きがいのづくりに大きく貢献しております。

多様な介護予防の取り組みの推進につきましては、2040年に向けて少子高齢化が加速していくと予測されていることから、住民一人ひとりの介護予防に対する意識啓発が重要と考え、講演会の実施や各種団体への説明会の他、FMよみたんを活用した介護予防番組を発信するとともに、広報よみたんで連載している「ゆんたんざ介護タイムズ」と連動させることで、自宅でできる介護予防や地域のゆいまーる共生事業の紹介など、介護予防への意識啓発に努めております。併せて、フレイルがみられる方を早期に把握し、各種事業に繋げる取組みを充実させることで重症化予防を図るとともに、高齢者自身が自分の健康状態を把握し、介護予防への意識を促すことができました。

高齢者の社会参加の促進につきましては、高齢者の活動拠点である老人福祉センター（セーラ苑）の改修工事を実施することで、更なる利便性向上を図りました。また、老人クラブ連合会が令和6年度に創立60周年を迎えることから、役員を中心に各単位クラブと連携し、新たに「夕涼み会」を開催することで会員同士の交流と結束を図った他、新規サークル設立等により新規会員の加入促進に取り組みました。地域の高齢者自らの生活を健全で、豊かにし、高齢者福祉の一層の向上を図るとともに、村内各自治会及び地域の老人クラブ活動の活性化に寄与しております。

認知症の方にやさしいむらづくりの推進につきましては、行方不明になるおそれのある高齢者等の情報を事前に登録することで、行方不明になった場合に早期に発見できるよう関係機関との協力体制を構築する読谷村認知症高齢者等見守りネットワーク事業を整備するとともに、高齢者等の行方不明時の検索ツールである「どこシル伝言板」を導入いたしました。

(1)持続可能な介護保険制度の運営

(事業費単位：円)

事務事業名	沖縄県介護保険広域連合運営事業	決算書 p. 123
取組内容	・ 沖縄県介護保険広域連合運営費負担金	事業費
	村内要支援・要介護認定者数 1,660人 居宅介護（介護予防）サービス受給者 1,058人 地域密着型（介護予防）サービス受給者 240人 施設介護サービス受給者 207人	510,538,285
成果	沖縄県介護保険広域連合へ運営負担金を負担することで、介護保険事業（①給付の適正化、②保険料の平準化、③財政の安定化、④地域支援事業の推進等）の円滑な推進に寄与した。	

(2)介護予防・重度化防止の推進

(事業費単位：円)

事務事業名	133201 高齢者福祉地域支援事業（一般介護予防事業）	決算書 p. 125
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆいまーる共生事業 23 自治会、534 回、延べ 17,286 人 ・ ボランティア支援レク講習会 1 回、57 人 ・ ボランティア支援調理講習会 4 回、61 人 ・ 健康チェック担当者意見交換会 1 回、14 人 ・ ボランティア支援救命救急講習会 1 回、38 人 ・ 健康増進センターにおける介護予防プログラム 915 回、13,373 人 ・ 高齢者の地域の通いの場の核としてゆいまーる共生事業を支援した。 	事業費 48,666,612
成果	<p>ゆいまーる共生事業においては、コロナに影響されず、通年を通して活動が活発になされた。ボランティア支援の各種講習会については、地域における活動だけでなく、日々の生活の中でも介護予防が意識されるよう内容を充実させた。また、フレイルがみられる人を早期に把握し、各種介護予防事業に繋げるため、基本チェックリストを 65 歳以上の方へ発送し、回答があった方へはフレイル判定結果を返送することで、自分自身の健康状態を自身で把握し介護予防への意識を促すことができた。</p>	
事務事業名	133202 高齢者福祉地域支援事業（包括的支援事業）	決算書 p. 127
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動支援センターの活動の状況 <ol style="list-style-type: none"> 1 総合相談 総数 2,810 件 <ol style="list-style-type: none"> ①介護保険・サービス利用に関する相談 1,495 件 ②介護・日常生活に関する相談 249 件 ③所得・家庭生活に関する相談 142 件 ④高齢者の見守りや認知症に関する相談 85 件 ⑤医療に関する相談 85 件 ⑥権利擁護（成年後見制度・虐待）に関する相談 21 件 ⑦その他 733 件 2 介護プラン作成件数 2,244 件 3 ケアマネ情報交換会の開催 4 回 	事業費 28,763,985
成果	<p>高齢者の総合相談窓口として、高齢者やそのご家族の抱えている問題に対応し、継続的な支援を行うことで、高齢者が住み慣れた地域で健康で安心した生活を送ることに寄与した。</p>	

事務事業名	133203 高齢者福祉地域支援事業（介護予防・生活支援サービス事業）	決算書 p. 129
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 通所サービス事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ わんからデイサービス(通所A) 50回 延べ479人 ・ ちむぐる教室(通所C) 87回 延べ279人 2 一般介護予防事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ はつらつ運動教室 49回、延べ431人 ・ ちゃんぷるー広場 51回、延べ560人（内、有償ボランティア延べ191人） ・ チャーガンジュー教室 地域版 319回、延べ2,525人 ・ コーヒーシャープ 51回、延べ274人 3 介護予防普及啓発事業「ぬちぐすいフェスタ2023」11/11開催 4 かじまやあ～（訪問B） 利用者21人 サポーター35人 延べ458回 5 介護入門的研修 講義18人 実技21人 6 地域介護予防活動支援事業補助金 6団体 延べ2,103人 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <p style="text-align: center;">20,026,375</p>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ わんからデイサービス、ちむぐる教室 介護保険サービスを利用せずに日常生活を送ることができるようになり、利用者の心身機能の向上に寄与した。 ・ はつらつ運動教室、がんじゅう広場 外出の機会・運動習慣を増やすことにより、閉じこもり防止・フレイル予防につながった。 ・ チャーガンジュー教室 歩いて通える地域の間として14自治会で実施しており、高齢者の介護予防・社会参加の間として定着している。 ・ コーヒーシャープ 地域と交流の少ない閉じこもりがちな高齢者の社会参加・外出の機会となっている。 ・ 介護予防普及啓発事業「ぬちぐすいフェスタ」 本村の高齢者の現状と課題から介護予防の重要性を伝え、福祉用具展示・体験などを通して「介護」について考えてもらう機会となった。 ・ 「かじまやあ～」 利用者が生活支援を受けることで安心した生活を送ることができ、ヘルパーの効果的な利用につながった。 ・ 介護入門的研修 地域住民の介護に関する知識・理解・技術の習得につながった。 	

(3)生きがいつくりの推進

(事業費単位：円)

事務事業名	133301 老人福祉事務運営事業	決算書 p. 131
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読谷村老人クラブ連合会補助金交付 3,700,000 円 ・ 各単位クラブ補助金 17 団体 1,265,750 円 ・ 高齢者サークル支援事業 12 サークル、4 教室、延べ 484 回、延べ 5,928 人 ・ 第 50 回読老連運動会や新たに「夕涼み会」の開催などを実施 	事業費
		5,988,768
成 果	<p>読老連運動会が第 50 回の記念大会や、読老連創立 60 周年記念事業として「夕涼み会」を開催することで、役員を中心に地域の各単位クラブが活発に事業に取り組んだ。その中で新たにコロナ禍で交流が減っていた会員同士の活発な交流に繋がり、地域を含めた高齢者の活動の活性化に寄与した。</p>	
事務事業名	133302 敬老祝金交付事業	決算書 p. 131
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老交付金 4,345 人 21,725,000 円 ・ トーカチ 211 人 1,055,000 円 ・ カジマヤー 31 人 155,000 円 ・ 新 100 歳 15 人 75,000 円 ・ 101 歳以上 28 人 280,000 円 ・ 施設入所者激励金 81 人 405,000 円 ・ 記念品（額縁） 242 件 3,004,980 円 <ul style="list-style-type: none"> トーカチ 195 件 カジマヤー 33 件 新 100 歳 14 件 	事業費
		26,883,542
成 果	<p>多年にわたり社会に貢献された功績に感謝し、高齢者に対して敬老祝金及び記念品を交付することで、その長寿を祝い、敬老思想を高め、高齢者の福祉に寄与した。</p>	

(4)日常生活支援の充実

(事業費単位：円)

事務事業名	133402 老人福祉事業（高齢者等生活支援）	決算書 p.135
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 外出支援 延べ77人（93回） 生活管理指導短期宿泊事業 利用日数 28日 加齢性難聴者補聴器購入費助成 10人 493,900円 	事業費
		1,677,988
成果	<ul style="list-style-type: none"> 外出支援サービス 寝たきりや歩行が困難等の身体が不自由な理由で、自力では外出が困難な高齢者が日常生活を送ることに寄与した。 生活支援短期宿泊事業 自立した生活を送るのに支障がある高齢者が特別養護老人ホームへ一時的に宿泊する事で生活面が整い安心した生活が送れることに寄与した。 加齢性難聴者補聴器購入費助成 加齢による難聴のため耳が聞こえづらい高齢者に対して補聴器購入費用の一部を助成することで、家族との会話や友人と会う機会が増えた等、社会参加する機会が増え生きがいのある生活に寄与する事ができた。 	
事務事業名	133403 高齢者福祉地域支援事業（任意事業）	決算書 p.137
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見利用支援事業 報酬助成 村長申立 3人 食の自立支援 延べ9,431食 緊急通報システム 延べ95人 実人数10人 寝たきり老人医療費助成（オムツ助成） 延べ394人 認知症サポーター養成の開催 411人（平成22年から延べ3,094人） 	事業費
		18,586,640
成果	<p>成年後見利用支援事業 認知症等で判断能力が十分でない高齢者が安心して生活できることに寄与した。</p> <p>食の自立支援、緊急通報システム、高齢者医療費助成 在宅で生活する虚弱な高齢者や介護が必要な高齢者へ日常生活の支援を行う事で、家族の身体的、精神的、経済的負担軽減に寄与する事ができた。</p> <p>認知症サポーター養成講座 地域で認知症について理解を深めることで、認知症高齢者を地域で支える地域づくりに寄与した。</p>	

事務事業名	133404 高齢者福祉地域支援事業（生活支援体制整備事業）	決算書 p. 137
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4層協議体（自治会単位） 24自治会で「地域支え合い活動員会」を実施 延べ 192回 ・ 第3層協議体（小学校校区） 合同開催1回 「地域支え合い活動の充実」 「地域の記録（カルテ）の作成に向けての周知」 「高齢者福祉計画を知り地域の現状を確認する」 ・ 第2層協議体（中学校区） 合同開催1回 「読谷村地域見守りネットワーク事業見守り協定について」 「読谷村高齢者等見守りSOSネットワーク事業について」 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <hr/> <p style="text-align: center;">8,264,000</p>
成 果	<p>第4層協議体では、見守り活動の基盤づくりができ、地域と役割分担を行い連携した支援に繋がった。</p> <p>第3層協議体では、地域支え活動委員会の目的について共通理解を深める事ができ、地域カルテの作成は、各地域の「長所」を学ぶ機会になり、今後の活動に向けた積極的な取り組みや自主的な取り組みに向けたイメージづくりを図ることが出来た。</p> <p>第2層協議体では、社会福祉協議体と見守り協定を結んでいる事業所と、活動事例を通して見守り活動の共有ができ、協定事業所の強みを把握することができた。</p>	
事務事業名	133405 高齢者福祉地域支援事業（地域ケア会議推進事業）	決算書 p. 137
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ケア会議 3回 事例提供5件 ・ 参加者 ①ケアマネージャー、②薬剤師、③歯科衛生士、 ④理学療法士、⑤管理栄養士、 ⑥生活支援コーディネーター 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <hr/> <p style="text-align: center;">57,230</p>
成 果	<p>地域で生活している高齢者が抱える身体・精神・社会面の課題に対する支援、多職種連携の必要性を確認する機会となっている。ケアマネージャーが実際に支援している事例を検討することで、多職種から個別性の高い具体的な助言を受けることができ、ケースや家族の健康問題や困りごとの解消とケアマネージャーの負担軽減や力量形成につながっている。</p>	

事務事業名	133406 高齢者福祉地域支援事業（認知症施策推進事業）	決算書 p. 137
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援チーム会議 6回 認知症普及啓発(アルツハイマー月間)パネル展・ポスター掲示 認知症サポーター養成講座 16回 延べ411人 (地域住民3回、読谷高校生2年・3年生8回、ゆいまーる3回、民生委員1回、ヘルパー事業所1回) 認知症サポーター・スキルアップ講座1回 (内容：認知症の基礎知識、コミュニケーション方法) キャラバンメイト・スキルアップ研修1回 (内容：サポーター講座の意義、認知症の知識) よみたんオレンジカフェ(認知症カフェ) 7回 延べ18人 	<p>事業費</p> <p>937,415</p>
成果	<p>認知症初期集中支援チーム員会議で医療・介護につながっていないケースを支援し、本人・家族の困りごとや介護負担が軽減した。</p> <p>認知症普及啓発パネル展・ポスター掲示や認知症サポーター養成講座を実施し、地域住民の認知症への知識・理解・対応力の向上につながった。</p> <p>よみたんオレンジカフェで本人・家族・認知症地域支援推進員が自由に交流し発言することで、認知症や介護に対する知識・理解が深まり、不安・ストレスの軽減が図られた。</p>	

(5)在宅医療・介護連携の推進

事務事業名	133501 高齢者福祉地域支援事業（在宅医療・介護連携推進事業）	決算書 p. 139
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 中部管内市町村担当者会議 6回 多職種合同研修会 6回 広域Bブロック(読谷・嘉手納・北谷)会議 4回 中部地区訪問介護事業所連絡会 3回 在宅看取り部会 6回 ACP(アドバンスケアプランニング・人生会議)の普及啓発(読谷村民向け講演会1回) 医療介護お助けマップ(年間アクセス数173,320件) 「入退院支援マナーブック」「介護施設等における在宅と救急連携の基本的な心得」の作成・周知 	<p>事業費</p> <p>2,997,384</p>
成果	<p>超高齢社会の課題である在宅医療・介護連携に向けて、多職種で会議・研修を行うことで、市町村・医療・介護の関係者が顔の見える関係で連携することができた。</p> <p>ACP(アドバンスケアプランニング、人生会議)に関する住民向け講演会を開催し、人生の最期をその人らしく迎えるために必要な情報発信を行い、地域住民のACPの理解に繋がった。</p>	

4) 地域医療の充実

地域医療の充実につきましては、引き続き外来診療を提供するとともに、自宅でも安心した生活が送れるように在宅診療に取り組んでおります。

また通所リハビリテーションを実施することで、対象者の心身機能の維持・回復や生活機能の向上を図るように努めております。

(1) 村立診療所の安定運営

(事業費単位：円)

事務事業名	134102 診療所運営事業	決算書 p. 193
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の医療機関として、一般診療による医療提供を実施した。 ・ 一般外来診療年間延べ件数：22,662件（計画値15,866件） ・ 地域の在宅医療へのニーズに対し、医療提供を行った。 在宅診療の契約数、月平均76件（在宅38件、施設38件） （月平均目標値53件） ・ 通所リハビリテーション年間延べ利用者数2,468人（計画値2,022人） 	事業費
		18,027,305
成果	外来診療並びに在宅診療、通所リハビリテーションの件数は、計画値を上回る実績となっている。これは地域医療機関からの受入や発熱外来（小児含む）などへの積極的な対応を行った結果である。	

(2) 民間医療機関との連携充実

※該当事務事業なし

5) 障がい者（児）福祉の推進

障がい者（児）福祉の推進につきましては、支援を必要とする人がライフステージに応じたサービス等に関する情報を得ることができる相談及び情報提供体制の充実を図るとともに、障がい者の個々のニーズに応じた障がい福祉サービスの給付や日常生活用具の給付等各種福祉サービスの充実に努めております。

相談支援体制の充実につきましては、地域生活支援事業において、5名の委託相談員を配置し相談支援や給付を行うことで、障がいのある人が地域で自立した日常生活を送ることができるように努めております。

重度心身障がい者（児）への医療費の助成につきましては、保健の向上に寄与し重度の障がい者の福祉の増進を図ることに努めております。

(1) ライフステージに応じた自立支援

(事業費単位：円)

事務事業名	135101 障害者自立支援事業	決算書 p. 139
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害介護給付費 延べ 9,951 人 ・ 補装具費給付費 延べ 90 人（購入・修理） ・ 自立支援医療費 延べ 268 人 ・ 障害児通所等給付費 延べ 4,678 人 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <p style="text-align: center;">1,598,786,379</p>
成果	障がい者及び障がい児がその有する能力及び適性に応じて、自立した日常生活や社会生活を営むことに寄与した。	
事務事業名	135102 障害児福祉事務運営事業	決算書 p. 157
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学校通学支援 利用者 3人 延べ 482 人 ・ 小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付 1 人 ・ 軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成 3 件 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <p style="text-align: center;">2,756,547</p>
成果	障がい児等に対し、用具の給付や経済的な補助を行うことで、子育て支援、発達支援、及び福祉の増進に寄与した。	

(2)生活支援・相談支援体制の充実

(事業費単位：円)

事務事業名	135201 重度心身障がい者（児）医療費助成事業	決算書 p. 141
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実人数 753 人 延べ 6,058 人 ・ 医療費の内 入院時食事療養費 5,260,815 円(単費) 	事業費
		68,112,305
成 果	重度の心身障がい者に対して、医療費を助成することにより、保健の向上に寄与し福祉の増進を図ることができた。	
事務事業名	135202 地域生活支援事業	決算書 p. 141
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で生活している障がい者への相談支援のため委託相談員を 5 人配置 ・ 本人やその家族への支援(訪問、同行、電話、メール、個別支援会議等) 実利人数 328 人 延べ 5,354 件 ・ 外出や余暇活動を支援する移動支援事業 9 事業所、実人数 54 人、延べ 2,949 時間 ・ 休日等の日中における日中一時支援事業 13 事業所、実人数 23 人、延べ 842 回 ・ 日常生活用具給付 544 件 	事業費
		69,343,905
成 果	障がい者及び障がい児がその有する能力及び適正に応じて、自立した日常生活や社会生活を営むことに寄与した。	

(3)共に生きる社会づくり

※関連事務事業にて実施

- ・ 地域生活支援事業
- ・ 公営住宅事務事業、住宅リフォーム助成支援事業

6) 国民健康保険・国民年金制度の安定的な運営

国民健康保険につきましては、令和2年度から国民健康保険基金より繰入を行い、運営を行っております。医療費の抑制のため、保健分野と連携し、特定健診の受診勧奨を行い、生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組んでおります。また、医療費通知書の送付やジェネリック医薬品の利用を推奨することで、医療費の適正化を図るとともに、国民健康保険事業の安定運営のため収納率向上への取り組みに努めております。

出産被保険者の産前産後期間における保険税の軽減措置の制度が導入され、対象者へ周知を図りました。

後期高齢者医療につきましては、沖縄県後期高齢者医療広域連合と連携し、高齢者の医療の確保に努めております。また、長寿健康診査受診に対する助成や健康づくりに関する資料の配布及び相談業務等を行うとともに、医療費通知書の送付やジェネリック医薬品の利用を推奨し、医療費の抑制を図っております。

(事業費単位：円)

事務事業名	国保特会繰出事業	決算書 p. 117
取組内容	保険基盤安定繰出金、出産育児一時金繰出金 財政安定化支援事業、その他繰出金	事業費
		479,729,637
事業名	国民健康保険特別会計	(特)決算書
取組内容	国民健康保険事業 (保険税の賦課徴収、医療費の給付、各種保健事業等)	事業費
		5,164,569,004
事務事業名	後期高齢者医療特会繰出事業	決算書 p. 139
取組内容	保険基盤安定繰出金 事務費繰出金	事業費
		95,905,390
事業名	後期高齢者医療特別会計	(特)決算書
取組内容	保険料徴収相談、保険証交付 保険基盤安定負担金	事業費
		495,168,169

4 ^{タゲ} ^{イチユ} ^{ウク} ^{クガニ} ^{ハナサカ} 互いに勢い起ち黄金花咲き（人集い活力と魅力あふれるむらづくり）

1) 農業の振興

農業の振興につきましては、紅イモ振興事業において、サツマイモ^{もとぐされびょう}基腐病の感染拡大対策として、国や沖縄県との連携による健康苗の増殖・無償配布の実施、生産農家へ病害虫の防除や栽培の勉強会を開催、高齢化による離農や生産規模縮小、新たな担い手への栽培支援策として、栽培機械（トラクター、つる切り機等）を導入し、生産振興を図っております。紅イモの消費拡大を図るため、産地協議会やJAゆんた市場と連携し、読谷まつりや、やちむん市などのイベントにおいて、焼き芋やスイーツ、生芋の販売など、PR強化に取り組んでおります。また、さとうきび振興事業においては、営農指導として、適切なかん水や肥培管理の徹底の呼びかけを強化するなど生産力向上に努めるとともに、優良種苗及び一芽苗の配布を行い、反収増加に取り組んでおります。

営農環境の整備につきましては、農業経営基盤強化促進対策事業において、2経営体の経営改善計画の再認定、1経営体の青年等就農計画の認定を行うとともに、48筆・7.3ha（所有権移転及び農地中間管理事業含む）の権利設定を行い、担い手農家等への農地の集積に努めております。

農業農村整備事業の促進につきましては、県営瀬名波地区土地改良事業の工事を進めております。本村は、非農用地部分の南エリアの実施設計を行いました。今後も引き続き事業を推進してまいります。また、渡具知地区の水利施設の更新工事を行っております。

農村環境の保全につきましては、ふるさとづくり寄附金と交付金を活用し、沈砂池の浚渫を行い、海への赤土流出の抑制を図るとともに、農道、用排水路の機能維持及び清掃を行うなど適正な管理に努めております。

地産地消の推進につきましては、農協や漁協、関係団体と連携し、学校給食等における地元農水産物の積極的な活用を図っております。農家からの規格外品の加工・販売にかかる相談についても手続き等のサポート支援を行っております。また、村内加工業者と連携し、山いもの商品加工開発も継続し、消費拡大に取り組んでおります。

(1)地域特性を活かした農業の振興

(事業費単位：円)

事務事業名	141105 紅イモ振興事業	決算書 p. 207
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイオ苗の無償配布を実施 17 農家へ 7,230 本を提供。 ・ 村産芋の消費PRを各イベントで実施。 ・ 産地協議会の開催を実施。 ・ サツマイモ基腐病対策に係る勉強会や、農薬の一部助成を実施。 ・ 紅イモ生産の環境整備として、栽培機械の購入。 	事業費
		10,696,858
成果	<p>サツマイモ基腐病の影響や、高齢化等に伴う生産農家の減衰により生産量が減少したが、一昨年との比較では微減に留まった。</p> <p>イベント等での消費PR等の取り組みにより、生食用芋への品種切替を行った農家の発生も見られた。</p> <p>情報共有の強化、リスク分散の取り組みが図られた。</p>	
事務事業名	141106 さとうきび振興事業	決算書 p. 207
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 優良種苗の配布：夏植（40a）9月配布、春植（30a）3月配布。一芽苗の配布：春植え、株出し欠株対策として一芽苗を40,000本配布。 	事業費
		5,067,388
成果	<p>優良種苗の配布について、村内さとうきび栽培の作付け体系に適した優良種苗の品種を配布することで、新品種への切替を行うことができた。高齢化に伴い、機械収穫が増えてきていることから、機械化に対応した品種を確保することで、さとうきび生産振興へ寄与することができた。</p> <p>一芽苗の配布について、春植え、株出し欠株対策として40,000本配布し反収増加に努めた。</p>	
事務事業名	141107 先進農業支援センター運営事業	決算書 p. 209
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内外の安全を保つため、設備の点検・管理を行った。 ・ 施設周辺環境調査を行い、近隣住民の安全に寄与した。 ・ 施設周辺に悪影響を及ぼさないよう、防風林の草刈り業務を委託した。 ・ 車上荒らし等から利用者を守るため、施設に防犯カメラを設置した。 	事業費
		8,927,437
成果	<p>施設の修繕及び維持管理を実施し、安全で快適な利用を提供することができた。</p>	

事務事業名	141111 畜産業振興事業	決算書 p. 213
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家畜の登録 実施頭数 (母牛 42 頭、子牛 451 頭) ・ 中央家畜保健衛生所と連携し家畜予防接種及び検査の推進 ・ 予防接種実施頭数 (牛 44 頭、豚 3, 297 頭)、 ・ 検査実施頭数 (牛 104 頭、養蜂 21 群) ・ 環境対策消耗品の配布 (消毒液、ハエ駆除剤) ・ 読谷村畜産共進会への支援 (畜産まつりについては、出品頭数が少なかったことにより、大規模なまつりは開催せずに巡回審査とした。) 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <p style="text-align: center;">2, 586, 375</p>
成 果	<p>和牛登記、子牛登録を毎月実施し、牛の個体管理を行い安定した子牛生産に繋げることができた。(母牛 42 頭、子牛 451 頭)</p> <p>中央家畜保健衛生所と連携し家畜予防接種及び検査の推進に 取組み、家畜伝染病の防止に繋げることができた。予防接種 実施頭数 (牛 44 頭、豚 3, 297 頭) 検査実施頭数 (牛 104 頭 養蜂 21 群)</p> <p>畜産農家へ環境対策消耗品の配布を行い、畜舎の衛生向上に繋げることができた。</p> <p>読谷村畜産共進会を実施し、中部地区畜産共進会へ村から肉用牛の出品を行い、中部地区の畜産振興に繋げることができた。</p>	
事務事業名	141113 園芸作物振興事業	決算書 p. 209
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気やさい産地協議会及び花き産地協議会を開催。 ・ 拠点産地品目のニンジン栽培においては、緑肥の配布や堆肥の散布を行い、土地生産性向上に努めた。また E F ポリマー活用による展示圃を設置した。 ・ ゴーヤー栽培においては、沖縄県や J A おきなわとの連携による天敵を利用した促成栽培の実証圃を設置し、生産性向上に取り組んだ。 ・ 果樹定例会や圃場巡回指導を行い、農家との情報共有を図った。 ・ 花き栽培においては、小菊消費 PR のため、清明祭花キャンペーン販売を行った。関係団体と小菊生産者の圃場で病害虫発生調査を行い、農家との情報共有を図った。 	<p style="text-align: center;">事業費</p> <p style="text-align: center;">4, 818, 659</p>
成 果	<p>緑肥の配布や堆肥の散布により、土壌が改善され生産性が向上した。ポリマーを活用した展示圃では、一部秀品率が向上するなど一定程度効果を得られた。</p> <p>果樹定例会や巡回指導を行うことで関係機関と情報共有が図られた。</p> <p>清明祭キャンペーン販売を実施し、小菊の地産地消を推進した。</p> <p>小菊病害虫発生調査を行うことで、農家と関係機関で情報共有が図られた。</p>	

(2)営農環境の整備及び適正管理と秩序ある土地利用

(事業費単位：円)

事務事業名	141201 農業振興地域整備計画事業	決算書 p. 211
取組内容	・ 読谷農業振興地域計画の一部見直し	事業費
		447, 228
成果	計画的で一体的な農地利用を推進するため、農業振興地域整備計画の一部見直しを行った。	
事務事業名	141203 バイオマス試験研究施設運営事業	決算書 p. 211
取組内容	・ 生分解性を高めたプラスチック製品原料となるバガス炭の製造実証実験、および炭化物(バガスや紅芋)の製品化(どのような分野やマーケットに適しているか)に向け事業を進める。	事業費
		303, 465
成果	【実績】 炭の製造量：400 k g	
事務事業名	141204 農業農村調査計画事業	決算書 p. 215
取組内容	・ 県営土地改良事業の推進のため、瀬名波土地改良区及び県と協力し、農地整備計画に必要な調整を実施した。 ・ 農業農村整備事業管理計画書(毎年度更新)について、県と協議し、今後必要な補助事業について検討した。 ・ 令和5年度瀬名波地区(非農用地部分)実施設計業務を発注し完了した。	事業費
		41, 256, 913
成果	農用地整備の設計に支障が無いよう進めることができた。管理計画書を作成することにより、今後の事業実施内容や時期を確認し、村の今後必要な整備等を確認することができた。 令和5年度瀬名波地区(非農用地部分)の実実施設計を発注し、計画を進めることができた。	

事務事業名	141205 団体営・土地改良区関係事業	決算書 p. 215
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 長浜川土地改良区へ補助金を交付した。また、今後の区の運営に対して話し合いを行った。 瀬名波土地改良区へ補助金を交付した。 	事業費
		45,548,000
成果	<p>長浜川土地改良区を支援することで、安定した農業用水の供給、農業用施設等の適正な維持管理が行えた。また、今後の区への補助金について、電気代を補助するという取り決めをすることができた。</p> <p>瀬名波土地改良区を支援することで、瀬名波通信施設跡地利用の実現に向け瀬名波土地改良事業と非農用地計画に向けての地元調整等を円滑に行うことができた。</p>	
事務事業名	141206 農業農村整備関連施設管理事業	決算書 p. 217
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 農道、排水路、沈砂池、防風林の維持管理（草刈り、浚渫、不法投棄処理等）を行った。 多面的機能支払交付金事業に対し、補助金を交付した。 	事業費
		65,866,990
成果	<p>農道、排水路、沈砂池、防風林の維持管理を実施し、農業者の安定した農業生産、農業経営を支援した。また、ふるさと寄附金を維持管理に活用することで、良好な環境の保全につながった。</p> <p>多面的機能支払交付金事業の推進・指導することにより、農業関連施設への維持管理体制を整える支援に繋がった。</p> <p>農業水路等長寿命化防災減災事業においては、渡具知地区の農業水利施設更新工事を実施することにより、農業者の安定した水供給を行うことができた。</p>	
事務事業名	141207 県営関係事業	決算書 p. 217
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 県営農業基盤整備促進事業（読谷第1地区）の防風林帯再整備について今後の調整を行った。 県営水利施設等整備事業負担金、瀬名波地区県営土地改良事業の工事、実施設計の一部、換地業務を行った。 県営農業農村基盤整備事業（本島中部第1地区）の長浜ダム施設更新の今後の調整を行った。 	事業費
		22,470,741
成果	<p>県営水利施設等整備事業を活用し、瀬名波地区県営土地改良事業の整備を実施することができた。</p> <p>県営農業農村基盤整備事業を活用し、老朽化している長浜ダム施設が更新され、農家への水供給の安定に繋がった。</p>	

－前頁より続き－

(事業費単位：円)

事務事業名	141208 農村公園維持管理事業	決算書 p. 217
取組内容	・ 農村公園の施設修繕及び維持管理委託（草刈り、清掃、遊具点検、浄化槽管理）を実施した。	事業費
		10,161,095
成果	施設修繕及び維持管理委託を実施し、安全で快適な利用環境を提供できた。	

(3)担い手の育成・確保

(事業費単位：円)

事務事業名	141301 農業経営基盤強化促進対策事業	決算書 p. 213
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業経営改善認定審査会：1回 ・ 青年等就農計画認定審査会：1回 ・ 認定農業者：2経営体 ・ 認定新規就農者：1経営体 ・ 読谷村先進的農業導入研修事業：法人1経営体(2施設) ・ 読谷村農業担い手育成研修事業：個人1経営体(1施設) ・ 農業次世代人材投資資金の交付：2名、2,250千円 ・ 利用権設定：11筆、2.4ha ・ 所有権移転：2筆、0.23ha ・ 農地中間管理事業：35筆、4.63ha ・ 地域計画協議の場：10箇所、2回 	事業費
		8,184,223
成果	認定農業者2経営体、認定新規就農者1経営体の認定を行った。 農業次世代人材投資資金の交付(2名)を行った。 農地の権利設定(基盤強化法、中間管理事業)を7.26ha行った。	

(4)地産地消及び読谷型地域6次産業化による流通販売の強化

(事業費単位：円)

事務事業名	141401 村民リフレッシュ農園維持管理事業	決算書 p. 203
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農園の貸付区画数：70 区画 ・ 草刈り作業実施：4 回 ・ トイレ清掃の実施：12 回 	事業費
		565, 717
成 果	<p>村民に農地を貸し付け、農業をとおした余暇活動を提供することにより、施設の設置目的が達成出来た。</p> <p>農園の維持管理のため、草刈り作業及びトイレ清掃を行うことで、快適な施設環境の維持を図った。</p>	
事務事業名	141402 地産地消推進事業	決算書 p. 213
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地産地消連絡会議を開催。（計 17 回） ・ 村産農産物を活用し、給食でのメニュー開発を実施。 ・ 畑巡回の強化による村産農産物の発掘。 ・ 村産農産物を活用した商品開発及び6次産業化に向けた事業者サポート 	事業費
		904, 929
成 果	<p>村産農産物を活用した新たなメニューを、村内小中学校や保育所で提供し、地産地消の促進が図られた。</p> <p>畑巡回強化の結果、新たな協力農家が得られた。</p> <p>体験型農業の導入による農家の所得向上に繋がった。</p>	

2) 水産業の振興

水産業の振興につきましては、地産地消推進のための直売店、海人食堂、移動販売車の運営、学校給食への食材の提供などの取り組みへの支援及び助言を行っております。また、親しまれる漁港づくりや魚食普及を目的に実施している「みなとピクニック」や「おさかなフェスタ」などの取り組みが、令和5年度沖縄総合事務局「ディスカバー農山漁村の宝」に選定され、その活動が高く評価されました。これらの取り組みを通して賑わいの場を創出し、地域漁業の活性化に努めております。

(1)安定した地域水産業の取り組み

(事業費単位：円)

事務事業名	142101 漁業振興補助金事業	決算書 p. 221
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 読谷村漁業協同組合に地域漁業活性化補助金の交付 	事業費 1,700,000
成果	みなとピクニック（8回開催：3,000人） おさかなフェスタ（1回開催：1,000人） 定置網漁業体験（1,662人） 自治会等への移動販売（6,263人）	

(2)開かれた漁港づくりによる新たな展開

※関連事務事業にて実施

- ・ 漁業振興補助金事業

3) 観光の振興

観光の振興につきましては、新たな観光資源の掘り起こしや既存資源の磨き上げに取り組むとともに、観光協会と連携し、地域の魅力や観光情報の発信に努め、本村の認知度向上及び誘客プロモーションに取り組んでおります。

スポーツコンベンションの推進につきましては、地域資源の有効活用を目的に新たにビーチスポーツ競技のキャンプ受入を実施いたしました。また、野球やサッカーの春季キャンプでは、コスモスフェスティバルなどのイベントを実施し、県内外から多くの観客で賑わいを創出しました。引き続きスポーツキャンプや大会誘致、ファンの誘客に取り組み、スポーツコンベンションを通じた観光振興と地域活性化に取り組んでまいります。

(1)よみたん型ツーリズムの再構築

(事業費単位：円)

事務事業名	143101 観光推進事業	決算書 p. 227
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 本村の豊かな自然、文化、歴史、伝統工芸品のほか地域資源や観光資源を広く県内外へ周知し、本村の認知度向上と観光誘客を図るため、観光協会の活動に対し補助を行った。 ハーリー大会をとおして伝統行事の継承、自然環境の保全、賑わいの創出を図るため、大会実行委員会に対し補助を行った。 	事業費
		8,600,000
成果	<p>観光協会は、ホームページやSNSを通じ観光情報発信を充実させることができた。</p> <p>協会 HP 閲覧回数 252,964 ビュー</p> <p>SNS フォロワー数 (Facebook、Instagram、X (旧 Twitter)、LINE、YouTube) 総計 18,649 件 (前年比 7%増)</p> <p>ハーリー大会では、一般職域チームや自治会チームの参加が増え、地域が一体となった伝統行事で賑わいを創出することが出来た。</p> <p>計 60 チーム (一般 50/自治会 10)</p>	

－前頁より続き－

(事業費単位：円)

事務事業名	143102 喜名番所維持管理事業	決算書 p. 227
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内人の配置により、県内外から訪れる観光客の利便を図った。 喜名番所施設の適切な管理運営を行った。 	事業費
		5, 125, 838
成果	<p>年末年始等による休館を除き、毎日9～18時まで観光案内所としての機能を果たすことができた。</p> <p>利用者数：10, 784人</p>	

(2)国際的な観光むらづくり

(事業費単位：円)

事務事業名	143201 ヨミタン情報発信事業	決算書 p. 225
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 県外のコミュニティラジオ放送局などを通じて、本村の自然、歴史、文化、観光、イベント、特産品などの紹介や旅マエ情報を発信し、観光誘客に取り組んだ。また、県外のイベント等で観光プロモーションを実施し、読谷村の認知度向上に努めた。 	事業費
		3, 844, 100
成果	<p>県外のコミュニティラジオ放送局にて観光やイベントなど情報発信をし、旅マエの旅行情報源として効果的に発信することが出来た。</p> <p>合計14回（かわさきFM4回/コミてんラジオ6回/FMKITAQ4回）</p> <p>県外観光PR活動は、沖縄関連イベントと旅行博覧会へ出展し、選ばれる観光地として効果的にPRし、誘客を図ることができた。</p> <p>観光PR人数 約82,000人</p>	

事務事業名	143204 スポーツコンベンション誘致促進事業	決算書 p. 231
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規及び継続のスポーツチームのキャンプ誘致に取り組んだ。 ・ 県外誘致活動（5回） ・ キャンプを行うチーム本拠地等にて観光及び物産のPR活動を展開した。 ・ 県外誘客活動（3回） 新規競技誘致のため、キーパーソン招へいを実施した。（2団体） 	事業費
		31,607,837
成 果	<p>キャンプチームの受入：16回（県外誘致活動実施チーム団体含む） コロナ禍からの回復により、受入数はR2（9）、R3（11）R4（15）の数字を上回る結果となった。新規チームや継続的かつ年度内複数回キャンプを行ったチームもあり、トップセールスによる誘致活動は効果的であった。 新たな競技として、フレスコボール、陸上の十種競技種目のキャンプを実施することができた。 ファン層に向けた読谷村観光PR活動については、コロナ5類移行に伴い、伝統芸能団を再び派遣することができ、歴史文化芸能の発信及び本村の認知度向上を図り、多くのファンへ誘客活動を展開することが出来た。</p>	
事務事業名	143205 電光掲示板管理運営事業	決算書 p. 231
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日7時～21時の間、観光・スポーツキャンプ・行政・各種イベント情報を掲載し、村県民及び観光客へ読谷村情報を発信した。 	事業費
		1,901,153
成 果	<p>行政の多様な情報を発信することで、利用者への有意義な広報ツールとして機能することができた。 観光イベント情報の発信により、観光誘客に繋げることができ地域活性化が図られた。 観光イベント関係：22件 行政情報：36件</p>	

4) 商工業の振興

商工業の振興につきましては、商工会への運営補助を行うことにより、経営改善普及事業の充実、組織の拡充強化や地域振興事業の推進に取り組んでおります。また、人材育成事業やうちな一健康経営宣言による健康経営事業を展開し、地域経済全体の底上げを図っております。

就労支援につきましては、就職相談窓口の開設及び就労支援セミナーの実施、求人情報の提供、企業と求職者の橋渡しを行うマッチングの実施などを通し、就職活動の支援を行っております。また、合同就職説明会を9月と2月の2回開催し、村内企業と求職者の出会いの場を提供し、村内の経済活動の活性化への寄与にも努めております。

まなびフェスタにおける「わくわくワーク」においては、村内企業の協力の下、職業体験を通してキャリア教育を実施し、将来の担い手育成にも努めております。

(1)活力のあるむらづくりのための商工業の振興

(事業費単位：円)

事務事業名	144101 就労支援対策事業	決算書 p. 199
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職相談窓口の開設 ・ 就職セミナーの開催 ・ 合同就職説明会の開催 ・ マッチングの実施 ・ わくわくワークの開催 	事業費
		5,791,833
成果	就職相談窓口の開設 (141日開催 延べ相談人数 678人) 就職セミナーの開催 (22日開催 延べ受講者数 90人) 就職決定人数 59人 合同就職説明会の開催 (2回開催：9月・2月、延べ参加人数 50人、延べ参加事業者 13事業所) マッチングの実施 11件 わくわくワークの開催 参加者 58人	
事務事業名	144103 商工会振興事業	決算書 p. 225
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本村の事業者に対する経営改善強化に関する相談や指導など、読谷村商工会が行う経営改善普及事業等に補助金を交付する。 	事業費
		8,075,000
成果	商工会の重点事業である①経営改善普及事業の推進、②商工会組織の拡充と各種共済制度の加入促進、③地域振興事業の推進、④観光振興事業と情報化の推進、⑤その他商工会活動及び地域経済振興に関わる事業、に補助を行い、地域経済の活性化が図られた。 経営指導件数：1,545件	

(2) 農漁商工観光連携等による地場産業の発展

(事業費単位：円)

事務事業名	144201 地域振興センター運営事業	決算書 p. 83
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との協定を締結し、適宜意見交換を行った。 適宜、施設修繕対応を行った。 	事業費
		5,922,822
成果	やちむん市やうむフェス、ラグビーW杯のパブリックビューイングの開催など、イベント開催により賑わいを創出した。 来館者数 170,029 人 施設入居状況 28 施設中 28 施設入居 会議室等利用延べ人数 10,615 人	

(2) 農漁商工観光連携等による地場産業の発展

※関連事務事業にて実施

- 地域振興センター運営事業

5) 手わざ工芸の振興

炎によるものづくりの振興につきましては、横浜、大阪、東京において県外プロモーションを実施し、村内の工芸プロモーションを行いました。また、「ヤチムン市」では、多くの来場者へのアンケート調査及びパンフレット等の配布を行うとともに、琉球ガラスや読谷山花織についても周知活動を実施いたしました。さらに、琉球ガラスについては、「よみたん琉球ガラスMAP」を増刷し、村内ガラス工芸の周知に努めました。

織と染の振興につきましては、読谷山花織が実施している後継者育成事業の後継者募集等の支援や、村外での展示販売事業の後援等による販路開拓の支援など、持続的な発展に努めております。

(1) 炎によるものづくりの振興

(事業費単位：円)

事務事業名	145101 伝統工芸振興事業	決算書 p. 225
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県外プロモーション（見本市、テストマーケティング）の実施 ・ WEBやちむん市の開催 ・ 工芸イベントへの支援 ・ 工芸関係団体への負担金、補助金の交付 ・ プロモーション用印刷物の発行 ・ 喜名番所・座喜味城跡通り街路灯修繕 	事業費
		12,966,975
成果	横浜高島屋「琉球クラフト展」への出展 大阪ギフトショー（見本市）への出展 東京のセレクトショップにて展示販売企画の実施 WEBやちむん市開催（アクセス数 10,646人） 読谷山花織後継者育成事業の実施 喜名番所・座喜味城跡通り街路灯修繕	

(2) 織と染の振興

※関連事務事業にて実施

- ・ 伝統工芸振興事業

5 ^{スリティチュク}うち揃て創^{ヘイワ}らな平和の世^{ヌユ}（平和で平等な協働のむらづくり）

1) 住民自治の推進

住民自治の推進につきましては、地域活動充実のための支援として、村内 24 自治会へ地域振興交付金を交付し、各自治会の特色を活かした地域づくりへの支援を行うとともに、自治会の創意工夫やその特性に即した地域づくりへの支援を行っております。

的確な情報発信共有の促進につきましては、村民が手に取って読みたくなるような広報誌のデザインレイアウト作成を行い、行政情報等のお知らせをわかりやすく、広く周知できるように努めております。村民の皆様からいただいた貴重なご意見等を今後の村政運営へ活かしてまいります。

協働のむらづくりにつきましては、「ノーベル平和賞を夢みる村民基金」を活用し、村民が自ら考え実践する特色ある地域づくりを支援しております。

(1) 村民による地域活動や自治活動の充実

(事業費単位：円)

事務事業名	151101 行政事務運営事業	決算書 p. 65
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動の主体となる村内 24 自治会に対し、地域振興交付金の交付を行い地域振興を図った。 行政事務執行のため行政区域内にある自治会の代表者と行政事務委託契約を行った。 	事業費 155, 524, 879
成果	村内 24 自治会へ地域振興交付金を交付し、地域行事や防犯・防災など、各団体の活動を通して地域振興を図った。 行政区域内にある自治会の代表者と行政事務委託契約を行い、行政情報を等しく村民に提供することにより、むらづくりに参画できる機会をつくること及び地域福祉、防災活動の推進を行った。	
事務事業名	151105 字別構想推進事業	決算書 p. 83
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 申請のあった 1 字に対し、アドバイザー派遣を行った。 字別構想推進事業補助金制度を申請した 1 字に対し、助成を行った。 	事業費 3, 010, 900
成果	アドバイザー派遣自治会：高志保自治会 助成自治会：高志保自治会 (高志保区御嶽神アサギ環境整備事業：3, 000, 000 円)	

(2)的確な情報発信共有の促進

(事業費単位：円)

事務事業名	151201 情報中継車管理事業	決算書 p. 77
取組内容	・ イベント等の情報発信に使用。	事業費
		118,985
成果	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことによりイベント等も通常開催となり、借用件数はコロナ禍前の水準に戻っている。	
事務事業名	151202 広報事務運営事業	決算書 p. 83
取組内容	・ 広報誌の発刊 ・ 行政ラジオ番組の放送 ・ 読谷村公式LINEの配信	事業費
		12,114,575
成果	毎月実施している「広報よみたんクイズ」「みんなの写真館」から得た村民アンケートをもとに、情報発信の改善や、新企画やコーナー（活躍している子ども他の紹介など）を展開するなど、双方向による誌面作りを体現している。 読谷村公式LINEを用いてリアルタイムに必要な行政情報の配信に努め、登録者数も2万人を超えている。	
事務事業名	151203 ホームページ運営事業	決算書 p. 85
取組内容	・ 村民がいつでも閲覧できるよう、保守を委託し、安定的な稼働に努めた。職員向けにマニュアル等の周知及び個別での操作説明を随時行った。	事業費
		2,600,400
成果	令和5年度の村公式ホームページ閲覧数は約112万ページあり、行政情報への関心の高さがうかがえた。	

(3) 村民による自発的なむらづくりの推進

(事業費単位：円)

事務事業名	151301 「ノーベル平和賞を夢みる村民基金」収益金事業	決算書 p. 85
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 「自ら考え自ら行う地域づくり」事業を、創造的かつ効率的に行うため、審査会を開催し、申請に対する助成を行った。 申請事業の募集について、広報よみたんや村ホームページにて広く村民への周知を図った。 	事業費
		7,417,957
成 果	第1回審査会 申請件数7件 うち助成実績3件 計1,869,600円 第2回審査会 申請件数9件 うち助成実績5件 計3,077,000円	
事務事業名	151302 ヨミタン大学運営事業	決算書 p. 85
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 農学部として、7月にゴーヤスープレ大会を、12月に山芋スープレ大会を実施した。 ゴーヤスープレ大会 出展数：95点 山芋スープレ大会 出展数：63点 	事業費
		166,680
成 果	農学部として実施した山芋スープレ大会について、台風6号の影響により出展数は昨年度より減少したが、合計63点、総重量5.9トンの出展があり、100kg超の山芋も22点出展されるなど、見ごたえのある大会となった。	

2) 平和むらづくりの推進

平和むらづくりの推進につきましては、恒久平和の実現を目指し、沖縄戦の上陸地点となった本村において、戦跡の保全等をとおして悲惨な戦争の実相を後世に伝え、平和の尊さを学び考える機会の創出に取り組んでおります。

平和創造の推進につきましては、平和創造展、児童生徒の平和に関する図画作文コンクールを実施しております。今後ともこれらの取り組みをとおして、戦争の悲惨さを胸に刻み、二度と戦争を繰り返さないよう、平和継承事業に取り組んでまいります。

(1)戦争の語り部の発掘育成と戦争遺跡等の活用

(事業費単位：円)

事務事業名	152101 平和行政推進事業	決算書 p. 85
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4/1 米軍上陸の日（防災無線によるアナウンス） ・ 平和コンサートの開催 ・ 児童生徒の平和に関する図画作文コンクールの開催 ・ 演劇をとおした平和学習活動の実施 	事業費
		9,790,573
成果	<p>昨年度に引き続き平和コンサートを開催し、約 25,000 人が参加するなど、読谷村から平和の想いを発信することができた。</p> <p>「読谷村米軍上陸の日」に黙とうを捧げ、戦争の記憶の継承と、村民に対し恒久平和の想いを伝えることができた。</p> <p>新たな取り組みとして喜名小学校3学年の児童を対象に「演劇をとおしたワークショップ」を開催した。2回のワークショップを通じて子どもたちの変化もみえ、心の成長に寄与した。</p>	

(2)平和創造の推進

※関連事務事業にて実施

- ・ 平和行政推進事業
- ・ 村史編集事務管理事業

(3)多様な時代に向けた平和共生交流の推進

※関連事務事業にて実施

- ・ 平和行政推進事業
- ・ 「ノーベル平和賞を夢みる村民基金」収益金事業

3) 男女共同参画人権尊重の推進

人権尊重の推進につきましては、村民相談事業の充実として、弁護士や司法書士による無料法律相談や、人権困りごと相談、消費者相談、行政相談などを実施し、村民一人ひとりの相談ニーズに基づいた相談機会の創出に努めております。また、古堅南小学校において命の大切さや思いやりの心を育むことを目的として「人権の花」運動を実施しました。

(1) 人権を尊重し多様な生き方の実現を目指す取り組み

(事業費単位：円)

事務事業名	153101 村民相談事業	決算書 p. 67
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 無料法律相談の実施（33回：司法書士21回、弁護士12回） 消費者相談の実施（48回） 人権相談会の実施（4回） 人権の花運動（古堅南小学校 613名） 行政相談会の実施（12回） 広報誌による広報活動（12回）ロビー広報活動（2回） 	事業費
		1,766,633
成果	無料法律相談206件（弁護士98件、司法書士108件）、消費者相談33件、人権相談1件、行政相談20件の相談があり、村民の悩みや諸問題解決の初期対応として機能した。	

(2) 安心して働き続けられる環境づくり

※関連事務事業にて実施

- 子ども子育て支援関連事業（認可保育園運営事業、私立幼稚園支援事業等）
- 男女共同参画推進事業

(3) 女性の能力を活かすための積極的な取り組みの支援

(事業費単位：円)

事務事業名	153301 男女共同参画推進事業	決算書 p. 87
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画推進協議会の開催 啓発活動としてのパネル展の開催 LGBTQの理解増進のための研修会等の開催 	事業費
		442,095
成果	村民向けに開催したLGBTQに関する研修会を通して、多様性のある社会についての理解につながった。	

4) 情報化政策の充実

情報化政策の充実につきましては、LoGo フォームでのオンライン申請において、新たに決済機能を追加し、戸籍証明書等の郵送請求がオンラインで可能になるなど、利用者の利便性向上を図りました。また、更なる DX の推進を目指し、職員のリテラシー向上と村民のデジタルデバイド解消のため、研修やセミナー等の開催を行ってまいりました。

オープンデータにつきましては、カタログサイトに掲載しているデータの更新を行い、利活用可能なデータ提供の充実に努めております。

(1) 情報システムを活用した電子自治体の実現

(事業費単位：円)

事務事業名	154101 行政情報システム整備事業	決算書 p. 93
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内庁外の管理対象パソコンプリンタ等の保守管理。各種業務システムの保守管理、導入支援。 ・ LoGo フォームや GovTech Express を用いたオンライン申請の活用支援。 ・ マイナポイント申込支援窓口の設置運用。 ・ システム標準化へ向けた調整および作業。 ・ 自治体DX推進に向けた研修等の実施。 	事業費 141,780,319
成果	<p>職員向け・村民向けオンライン申請フォームを作成し、受付業務等をデジタル化した。(新規作成フォーム件数 LoGo フォーム：147 件、GovTech Express：23 件)</p> <p>マイナポイント支援窓口にて 1,838 件の申込支援を行い、システム操作に不慣れな村民の支援に繋がった。</p> <p>システム標準化対象業務のうち、令和 5 年度対象業務の Fit&Gap 作業が完了した。</p> <p>2 件の新規 RPA 作成を行い、担当職員の業務負担軽減が図られた。</p> <p>職員向け DX 関連研修：43 回開催、延べ 289 人参加 村民向けスマホセミナー：26 回開催 延べ 81 人参加</p>	
事務事業名	154102 公衆無線 LAN 運営事業	決算書 p. 95
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆無線 LAN の運用保守 ・ ファイアウォール更改 	事業費 1,470,308
成果	<p>保守の実施により、概ね安定的な運用が実現できた。</p> <p>アクセス数 34,592 件</p>	

(2) 統計情報のオープンデータ化

※該当事務事業なし

5) 基地問題への対応

基地問題への対応につきましては、米軍基地から派生する事件事故に対し、迅速な対応に努めております。

基地負担軽減への取り組みの強化として、加盟する協議会等と連携協力を図り、基地問題の解決促進に向け努めております。

(1)米軍基地から派生する諸問題への対応強化

(事業費単位：円)

事務事業名	155101 基地問題対策事業	決算書 p. 87
取組内容	・ 軍用地転用促進基地問題協議会への参加 ・ 軍転協県外要請行動への参加	事業費
		1,222,540
成果	現地開催を含め、加盟する協議会等への取り組みに参加することができた。	

(2)基地負担軽減への取り組みの強化

※関連事務事業にて実施

- ・ 基地問題対策事業

6) 健全な行財政運営

健全な行財政運営につきましては、多様化する村民ニーズへ迅速に対応できる人材の育成を行うために、村独自研修の充実を図るとともに、県内や県外研修機関が実施する各種研修へ職員を派遣することにより、職員の資質及び行政サービスの向上に努めております。

村税につきましては、読谷村の財政運営の根幹となる重要な財源であることから、適正課税、厳正なる徴収を基本とし、自主財源の確保に努めてまいりました。令和5年度の納付率と収入額につきましては、納付率が対前年度約0.2%減の97.1%となりましたが、収入額は対前年度約3.8%増の約49億7千8百万円と過去最高額となっております。また、令和5年度より、地方税統一QRコードを利用した電子納付がスタートし、クレジットカードやインターネットバンキング、スマホ決済アプリによる納付など納付しやすい環境を整え利便性の向上を図っております。今後とも、村民の皆様の村税の納付へのご理解とご協力をお願いいたします。

ふるさとづくり寄附金制度の促進につきましては、返礼品開発やサイトの開設などの取組みにより、寄附金の増額を目指す取組みを継続しております。令和5年度は寄附金を活用し、28の事業を推進することができました。改めまして、本村を応援いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

広域行政の充実につきましては、様々な分野において、関係市町村と協力体制を構築し、村民サービスの充実及び行政事務の効率化を図っております。

(1)時代にマッチした職員の資質向上

(事業費単位：円)

事務事業名	156101 職員研修事業	決算書 p. 67
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 読谷村役場職員の資質向上を図り、村行政サービスの質の向上、新たな行政課題に対し柔軟に対応できる人材の育成を図るために、読谷村職員研修計画に基づき、派遣研修、独自研修、共同研修を実施した。 	事業費 2,404,414
成果	<p>研修の実施により、読谷村職員の資質向上・人材育成を図ることができた。</p> <p>1. 派遣研修（県内、共同研修） 目標 32 名に対して 69 名を参加させることができた。県内については沖縄県市町村職員研修センター主催の階層別研修に新採用職員、一般職員、監督者、管理者をそれぞれ参加させ、階層ごとに資質向上を図ることができた。専門研修においてはクレーム対応研修やハラスメント研修、民法講座など、業務上の課題対応につながる力をつけることができた。共同研修については中部広域市町村圏事務組合主催のゆがふう塾及び沖縄県経営者協会主催のかりゆし塾へ職員を派遣し、中部広域市町村職員との課題共有や、民間企業職員とともに地域振興に取り組む力をつけることができた。</p> <p>2 派遣研修（県外） 市町村アカデミーや国際文化アカデミー、日本経営協会、全国建設研修センター等への研修へ 16 名派遣し、職員の能力の向上を図ることができた。また、独自研修、新採用職員研修、係長研修、管理職研修といった階層別研修を実施するとともに、法制執務研修やコンプライアンス研修、交通安全講習会といった専門研修を開催し、273 名の職員の資質向上を図ることができた。</p>	

(2)健全な財政運営

(事業費単位：円)

事務事業名	156202 公有財産等管理事業	決算書 p. 77
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 財産管理のための台帳整備及び地図システム更新 公共施設等総合管理計画の改訂 用途廃止された法定外公物（里道等）の売り払い 所有者不明土地の管理 	事業費 6,723,535
成果	<p>1 読谷村公共施設等総合管理計画を令和 6 年 3 月に改訂した。</p> <p>2 里道等の売払い 6 件</p> <p>3 比謝缸複合施設について、令和 5 年 10 月末に建物リース契約が満期を迎え、11 月 1 日に建物が読谷村へ譲渡された。</p> <p>4. 所有者不明土地管理における落石防止柵設置工事 1 件、雑木伐採 1 件</p>	

(3)自主財源の確保

(事業費単位：円)

事務事業名	156302 ふるさとづくり寄附金推進事業	決算書 p. 87
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年6月の制度改正対応のため、委託事業者と調整を行った。 新しい返礼品や現地決済プランを充実させた。 	事業費 310,302,599
成果	寄附額について、制度改正などの要因により昨年度を下回る約5億7234万円となった。 制度改正により有料広告等が制限される状況であったが、WEB広告掲載などにも取り組み、露出拡大を図った。	
事務事業名	156306 住民税賦課徴収事業	決算書 p. 103
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> LINE等オンライン申告の実施(所得のない方向け) 申告従事者への学習教材の充実(市販教材の活用) 申告支援システム機能(自動扶養紐づけツール)の活用 軽自動車税OSSの利活用 たばこ税のeltaxでの申告受付開始 	事業費 11,280,408
成果	歳入調定額(現年度課税分) 住民税村税個人分法人分(現年度課税) 1,875,198,071円 軽自動車税種別割(現年度課税分) 167,436,700円 軽自動車税環境性能割(現年度課税分) 3,919,400円 たばこ税(現年度課税分) 173,099,221円 鉱産税(現年度課税分) 0円	
事務事業名	156307 固定資産税賦課徴収事業	決算書 p. 105
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 読谷村税条例に基づいた①固定資産価格等固定資産課税台帳への登録②固定資産税納税通知書発送③土地、家屋の登記異動処理④土地、家屋評価業務⑤償却資産申告書発送及び評価業務⑥標準地の時点修正鑑定評価等の業務を行った。固定資産税納税通知書発送 15,270件 登記異動処理(土地) 4,699件 登記異動処理(家屋) 1,098件 	事業費 1,731,364
成果	地方税法、読谷村税条例に則り、固定資産税の納税義務者を的確に把握し、収集した課税資料をもとに適切かつ公平に賦課作業を行った結果、以下の歳入調定額となった。 歳入調定額(現年度課税分) 固定資産税(現年度課税分) 2,771,112,900円 国有資産等所在市町村交付金 7,928,600円	

－前頁より続き－

(事業費単位：円)

事務事業名	156308 納税賦課徴収事業	決算書 p. 105
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 納期が過ぎても納付のない新規滞納者及び過年度分の滞納者に対し、督促状及び催告書の発送を行い、催告実施後も納付が見込めない滞納者に対しては財産の差押えや執行停止等滞納処分を執行した。 	事業費
		16,626,184
成果	<p>納期を過ぎても納付のない新規滞納者及び過年度分の滞納者に対し、催告書を発送することにより早期の収入確保に繋げることができた。財産調査を適宜実施し債権を中心とした滞納処分を行った結果前年度を上回る収入を確保することが出来た。</p> <p>○令和4年度 現年 4,740,407 千円 過年 54,686 千円 合計 4,795,093 千円 ○令和5年度 現年 4,923,757 千円 過年 54,644 千円 合計 4,978,401 千円</p>	
事務事業名	156309 五感で楽しむ読谷想い物語推進事業	決算書 p. 89
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 村長トップセールスの実施（大阪府大阪市関西読谷郷友会） 村民総セールスマン用配布物作成 ふるさと納税感謝祭の開催 	事業費
		2,144,263
成果	<p>令和5年10月、大阪府大阪市において関西読谷郷友会の総会において村長によるトップセールスを行った。その場にいた方のみならず、SNSなどでの会員の横のつながりから読谷村との関係人口の拡大を図ることが出来た。</p> <p>令和5年12月、ふるさと納税感謝祭を開催した。181名の来場があり、FMよみたんで放送した特別番組は令和6年1月までに418回の視聴があった。</p>	

(4)効果的効率的な行政運営

(事業費単位：円)

事務事業名	156414 個人番号通知書・個人番号カード関連事務事業	決算書 p. 107
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> コンビニでの証明書交付手数料減額(300円→10円)によるカード申請及び利用促進。 毎月第2日曜日(休日)と第2水曜日(夜間)の時間外交付実施 転出・転入ワンストップシステムが導入され住所変更の際に村民の利便性が向上した。 	事業費
		12,850,630
成果	<p>マイナンバーカード交付率 令和4年度 54.8% (交付枚数率) 令和5年度 62.6% (保有枚数率) コンビニ交付証明発行件数 令和4年度 8,235 件 令和5年度 22,139 件</p>	

(5)広域行政の充実

(事業費単位：円)

事務事業名	中部広域市町村圏振興事業	決算書 p. 91
主な事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定教育保育施設及び特定地域保育事業の監査指導 保育所 4 施設、小規模保育事業 2 事業所 ・ 障がい福祉サービス事業所等の指導及び実施検査事務 実地検査 214 事業 	事業費
		12,884,835
事務事業名	沖縄県介護保険広域連合運営事業	決算書 p. 123
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄県介護保険広域連合運営費負担金 ・ 村内要支援・要介護認定者数 1,656 名 ・ 居宅介護（介護予防）サービス受給者 1,043 名 ・ 地域密着型（介護予防）サービス受給者 233 名 ・ 施設介護サービス受給者 226 名 	事業費
		510,538,285
成果	<p>沖縄県介護保険広域連合へ運営負担金を負担することで、介護保険事業（①給付の適正化、②保険料の平準化、③財政の安定化、④地域支援事業の推進等）の円滑な推進に寄与した。</p>	
事務事業名	沖縄県後期高齢者医療広域連合運営事業	決算書 p. 139
主な事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域連合運営負担金 ・ 療養給付費負担金 	事業費
		328,267,099
事務事業名	し尿処理施設運営負担金事業	決算書 p. 197
主な事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ し尿及び浄化槽汚泥処理を行っている中部衛生施設組合に対し、し尿処理施設である長尾苑の運営管理負担金を拠出。生し尿 136.65 kℓ、浄化槽汚泥 10,657.30 kℓ、合計 10,793.95 kℓの搬入を行い村民の衛生環境の整備に役立つことができた。 	事業費
		52,511,000
事務事業名	塵芥収集事業	決算書 p. 195
主な事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比謝川行政事務組合負担金 419,283,000 円 	事業費
		595,815,194
事務事業名	消防一部事務組合負担金事業	決算書 p. 253
主な事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防一部事務組合負担金 ・ 消防一部事務組合特別負担金 	事業費
		596,033,368

6 新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策関連事業

新型コロナウイルス感染症対策関連事業につきましては、感染症予防対策としまして、新型コロナウイルスワクチン接種事業を実施することで、感染拡大防止と社会機能の維持に取り組んでおります。

物価高騰に対する経済対策としましては、昨年度に引き続き、給水契約のある世帯及び事業者を対象に水道料金基本料金の免除に取り組みました。また、低所得者世帯への給付金を支給しました。

新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策関連事業

(事業費単位：円)

事務事業名	190032 「新しい生活様式」対応支援事業	決算書 p. 225
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> キャッシュレス化の推進及びコロナ過で落ち込んだ地域経済の活性化を目的に、地域通貨よみペイの還元ポイントを付与し、域内の経済活動の循環に取り組んだ。 	事業費 24,190,441
成果	地域通貨「よみペイ」チャージ利用実績 ①チャージ件数 6,366 件 (延べ) ②チャージ総額 148,265,000 円 ③チャージ利用額 148,081,136 円 地域通貨「よみペイ」還元ポイント利用実績 ①還元ポイント予算額 15,000,000 円 ②還元ポイント利用額 14,103,585 円 (約 94%) よみペイ加盟店舗 320 店舗	
事務事業名	190041 新型コロナウイルスワクチン接種事業	決算書 p. 189
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスが令和 5 年 5 月 8 日より 5 類感染症となったことから、医療機関での個別接種が基本となるが、本村では集団接種会場の設置も行った。(全 23 回：春接種 6 回、秋接種 17 回) 春接種 (5/8～9/19) 接種数：3,029 人 (高齢者 2,731 人) 秋接種 (9/20～R 6/3/31) 接種数は 2,918 人 (高齢者 2,050 人) 	事業費 136,187,666
成果	集団接種会場を設置したことにより、接種機会の充実が図られた。集団接種会場の運営は、24 回を予定したが台風の影響もあり 23 回となった。 春接種 (5/8～9/19) の接種率 7.3% (高齢者 29.6%) 秋接種 (9/20～R6/3/31) の接種率 7.0% (高齢者 22.2%)	

－前頁より続き－

(事業費単位：円)

事務事業名	190046 低所得の子育て世帯生活支援事業（その他の世帯分）	決算書 p. 171								
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 食費等の物価高騰の影響を受けた低所得の子育て世帯に対し、特別給付金として対象児童ひとりにつき 50,000 円の支給を行った。 	事業費								
		91,060,402								
成果	【支給実績】 支給児童数 1,548 人 給付金額 77,400,000 円									
事務事業名	190061 水道料金支援事業	決算書 p. 197								
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 一般用途及び営業用途で給水している水栓を対象に、令和 5 年 7 月検針分から令和 6 年 3 月検針分の計 9 ヶ月間、水道料金基本料金を免除した。 <p style="text-align: center;">水道料金基本料金 一般用途：1,047 円（税込み）/月 営業用途：2,304 円（税込み）/月</p>	事業費								
		170,358,000								
成果	物価高騰等に対して、水道料金基本料金を免除したことで固定費の軽減となり、家計や事業者への経済的支援を図ることができた。									
事務事業名	190065 低所得者世帯物価高騰支援給付金事業	決算書 p. 119								
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーや食料品価格等の物価高騰による影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯）に対し、1 世帯当たり 3 万円及び 7 万円を給付した。 	事業費								
		440,737,032								
成果	<p>物価高騰等に対して、低所得者世帯への経済的支援を図ることができた。</p> <p>【支給実績】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">令和 5 年度</td> <td style="text-align: center;">前期</td> <td style="text-align: center;">1 世帯あたり 3 万円給付</td> <td style="text-align: center;">4,398 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">後期</td> <td style="text-align: center;">1 世帯あたり 7 万円追加給付</td> <td style="text-align: center;">4,205 件</td> </tr> </table>		令和 5 年度	前期	1 世帯あたり 3 万円給付	4,398 件		後期	1 世帯あたり 7 万円追加給付	4,205 件
令和 5 年度	前期	1 世帯あたり 3 万円給付	4,398 件							
	後期	1 世帯あたり 7 万円追加給付	4,205 件							

7 重点施策の推進

基本目標の実現に向け、重点をおいて取り組むべき課題や、分野横断的に取り組むべき施策を重点施策として推進しております。

1) 子ども子育ての推進

子ども子育ての推進につきましては、地域の宝である子どもたちが健やかに育ち、子育て世代が安心して子どもを産み育てられるよう、待機児童の解消、放課後児童クラブなど地域における子ども子育てを総合的に推進しております。

事務事業名	掲載箇所	決算書
121101 私立幼稚園支援事業	p. 19	p. 145
121104 放課後児童健全育成事業	p. 19	p. 147
121105 認可外保育施設助成事業	p. 20	p. 159
121106 認可保育園運営事業	p. 20	p. 159
121109 読谷保育所運営事業	p. 21	p. 161
121110 南保育所運営事業	p. 21	p. 165
121111 預かり保育事業	p. 22	p. 255
121113 幼稚園教育支援員配置事業	p. 22	p. 297
121121 子育てのための施設等利用費助成事業	p. 22	p. 169
121202 児童館運営事業	p. 23	p. 149
121204 地域子育て支援事業	p. 23	p. 171
121301 子どもの自立支援事業	p. 24	p. 149
121302 子ども子育て支援事業	p. 24	p. 151
121303 児童手当支給事業	p. 25	p. 153
121304 児童扶養手当事務管理事業	p. 25	p. 155
121305 母子・父子家庭等医療費助成事務事業	p. 25	p. 155
121306 未熟児養育医療給付等事業	p. 26	p. 179
121307 こども医療費助成事業	p. 26	p. 193
121308 子ども家庭総合支援拠点事業	p. 26	p. 155

－前頁より続き－

事務事業名	掲載箇所	決算書
122110 小学校就学援助事業	p. 28	p. 279
122121 中学校就学援助事業	p. 29	p. 291
122301 地域学校協働活動推進事業	p. 34	p. 309
122302 放課後子ども教室推進事業	p. 34	p. 309
122303 家庭教育相談支援事業	p. 34	p. 309
132102 母子保健事業	p. 55	p. 181

2) ゆんたんざ産業づくりの推進

ゆんたんざ産業づくりの推進につきましては、農漁業のみならず商工業や観光業などとの連携を強め、農漁業の6次産業化をはじめ付加価値の高い特産品開発と観光複合等による本村ならではの産業づくりを推進しております。

事務事業名	掲載箇所	決算書
141105 紅イモ振興事業	p. 74	p. 207
141402 地産地消推進事業	p. 79	p. 213
143101 観光推進事業	p. 81	p. 227
143201 ヨミタン情報発信事業	p. 82	p. 225
143205 電光掲示板管理運営事業	p. 83	p. 231
144201 地域振興センター運営事業	p. 85	p. 83

3) スポーツをとおしたむら（ひと）づくりの推進

スポーツをとおしたむら（ひと）づくりの推進につきましては、スポーツ教室等による夢を育むスポーツの振興やスポーツキャンプの受け入れ促進、本村が選手の第二の故郷となるような国内外地域交流等、スポーツをとおして観光交流分野と複合した新たな地域振興、むら（ひと）づくりを進めております。

事務事業名	掲載箇所	決算書
125102 後援団体育成事業	p. 47	p. 343
125103 体育施設運営事業	p. 48	p. 355
125105 屋内運動場整備事業	p. 48	p. 357
125201 スポーツ推進委員運営事業	p. 49	p. 343
143204 スポーツコンベンション誘致促進事業	p. 83	p. 231

4) 包括的コミュニティづくりの推進

包括的コミュニティづくりの推進につきましては、自治会活動の充実と行事参加等による加入の促進、津波避難や消火訓練等の自主防災活動の推進、地域の子どもは地域で育てる地域学校協働活動の推進、認知症者の地域見守り等、行政区域における諸活動を統括していくコミュニティづくりを推進しております。

事務事業名	掲載箇所	決算書
122301 地域学校協働活動推進事業	p. 34	p. 309
151101 行政事務運営事業	p. 87	p. 65
151202 広報事務運営事業	p. 88	p. 83
151301 「ノーベル平和賞を夢みる村民基金」収益金事業	p. 89	p. 85
151302 ヨミタン大学運営事業	p. 89	p. 85